



IIXIL

パワーアルファ 階段納まり

取付け説明書

●この説明書について

・必ず取付けされる方にお渡しください。

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本製品施工の際はテラス本体に同梱の取付け説明書を併せてご使用ください。

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。

冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

●設置条件

- ・本製品は一般地域用です。積雪強度は 900N/m^2 (91.8kg/m^2) であり、積雪量に換算すると30cm相当です。これを超える積雪の多い地域には取付けないでください。
- ・本製品は2階以下の住宅に取付けてください。3階以上には絶対に取付けないでください。
- ・他社商品(バルコニーなど)と組合わせて設置しないでください。
- ・高い建物のそばや、周りに障害物がなく、直接風が吹くような場所では補強ブレスで製品の補強をしてください。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・崖っぶりなどの高低差のあるところには設置しないでください。

●躯体への固定

- ・垂木掛け、柱壁付け固定部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
- ・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

- ・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締付けてください。
- ・取付け後、ねじ・ボルトにゆるみ、ガタツキがないことを必ず確認してください。

▲ 注 意

●基礎について

- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- ・柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
- ・コンクリート(又はモルタル)に急結剤は絶対に使用しないでください。

●パネルについて

- ・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- ・屋根パネルの取付けは垂木へののみこみが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。

●取付け上について

- ・みだりに改造・変更をしないでください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理

- ・アルミ型材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●シーリングについて

- ・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- ・シリコンシーリングを使用する場合、アクリル板およびポリカーボネート板のシーリングは、ひび割れ防止のために、当社指定の脱アルコール型シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

■取付け上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 取付けは専門業者が行ってください。
- 取付け時は必ず足場を設けてください。

■ 梱包明細表

● 自在継手セット(F型用)

前枠・垂木固定金具 (左用)	前枠・垂木固定金具 (右用)	山部垂木・垂木掛け 固定金具	谷部垂木・垂木掛け 固定金具	自在継手A (F型用)	自在継手B (F型用)	谷部前枠・垂木キャップ (F型用)	山部垂木キャップ	谷部垂木掛け・垂木キャップ (F型用)
谷部前枠キャップ	前枠固定金具 (階段用)	その他明細 ・先付けビード(階段用) ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・十字穴付き六角ボルトM4×12 ・平ワッシャーM4用 ・ナベドリルねじφ4×19			トラスタッピンねじ(3種)φ5×25 ・穴ふさぎシール ・WHタッピンねじ(2種)φ4×12 ・六角ボルトM8×25 ・平ワッシャーM8用		スプリングワッシャーM8用 ・袋ナットM8用 ・取付け説明書(階段仕様)	

● 自在継手セット(R型用)

前枠・垂木固定金具 (左用)	前枠・垂木固定金具 (右用)	山部垂木・垂木掛け 固定金具	谷部垂木・垂木掛け 固定金具	自在継手A (R型用)	自在継手B (R型用)	谷部前枠・垂木キャップ (R型用)	山部垂木キャップ	谷部垂木掛け・垂木キャップ (R型用)
谷部前枠キャップ	前枠固定金具 (階段用)	その他明細 ・先付けビード(階段用) ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・十字穴付き六角ボルトM4×12 ・平ワッシャーM4用 ・ナベドリルねじφ4×19			トラスタッピンねじ(3種)φ5×25 ・穴ふさぎシール ・WHタッピンねじ(2種)φ4×12 ・六角ボルトM8×25 ・平ワッシャーM8用		スプリングワッシャーM8用 ・袋ナットM8用 ・取付け説明書(階段仕様)	

● 柱部品セット(階段用)

柱角度自在金具 (上)	柱角度自在金具 (下・階段用)	柱固定金具裏板 (中間用)	柱固定金具	手摺取付け金具 (左下り用)	手摺取付け金具 (右下り用)

その他明細			
・ナベドリルねじφ5×16 ・ナベタッピンねじ(3種)φ5×12 ・ナベ小ねじM6×10	・六角ボルトM8×18(セムス) ・六角ボルトM8×70(セムス) ・平ワッシャーM8用	・スプリングワッシャーM8用 ・ナットM8用 ・六角ボルトM10×40	・平ワッシャーM10用 ・スプリングワッシャーM10用 ・袋ナットM10用

● 雨受け材 F型用



● 階段用雨受け部品セット F型用

雨受けキャップ (F型用)	雨樋アタッチメント	雨樋パッキン	その他明細
			・雨受け用パッキン ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・トラスタッピンねじ(2種)φ4×14

● 雨受け材セット RB型用

雨受け材 (RB型用)	雨受けキャップ (躯体側)	雨受けキャップ (前枠側)	その他明細
			・雨受け用パッキン ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12 ・トラスタッピンねじ(2種)φ4×14

※雨受け材セット RB型用には左用・右用があります。

● 雨樋部品セット(階段納まり用)

ジャバラ用 アタッチメント	92°エルボ	ジャバラ	ジャバラ用ソケット	雨樋でんでん	その他明細
					・接着剤 ・トラスタッピンねじ(3種)φ4×12

■参考基本寸法図

●F型

D:出幅寸法

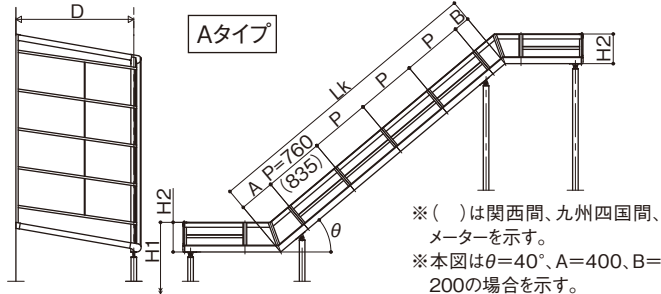
H1:GL～垂木掛け上

H2:前枠下～垂木掛け上

Lk:傾斜部屋根幅

A:傾斜下部垂木ピッチ

B:傾斜上部垂木ピッチ



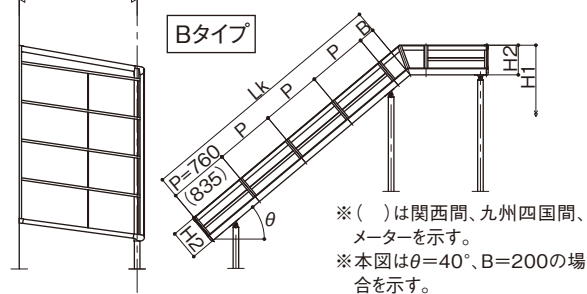
D:出幅寸法

H1:GL～垂木掛け上

H2:前枠下～垂木掛け上

Lk:傾斜部屋根幅

B:傾斜上部垂木ピッチ



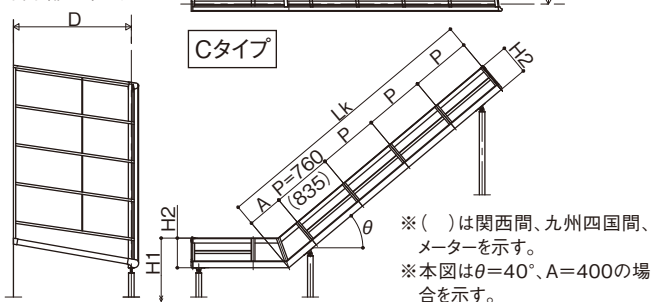
D:出幅寸法

H1:GL～垂木掛け上

H2:前枠下～垂木掛け上

Lk:傾斜部屋根幅

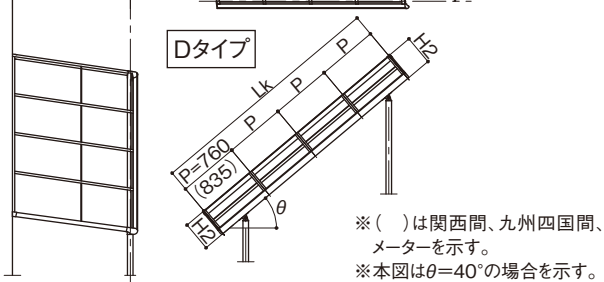
A:傾斜下部垂木ピッチ



D:出幅寸法

H2:前枠下～垂木掛け上

Lk:傾斜部屋根幅



●RB型

D:出幅寸法

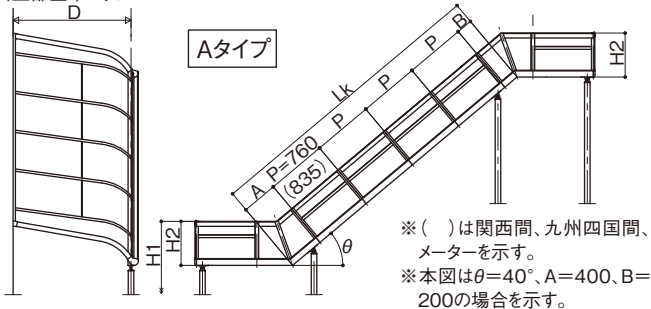
H1:GL～垂木掛け上

H2:前枠下～垂木掛け上

Lk:傾斜部屋根幅

A:傾斜下部垂木ピッチ

B:傾斜上部垂木ピッチ



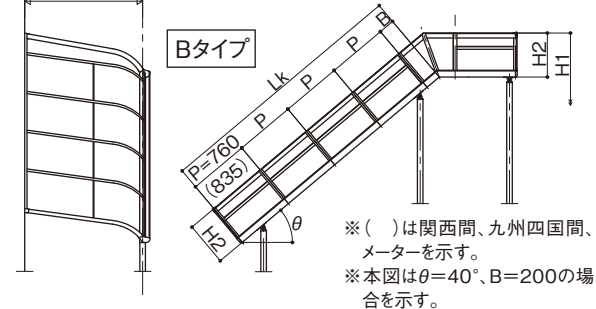
D:出幅寸法

H1:GL～垂木掛け上

H2:前枠下～垂木掛け上

Lk:傾斜部屋根幅

B:傾斜上部垂木ピッチ



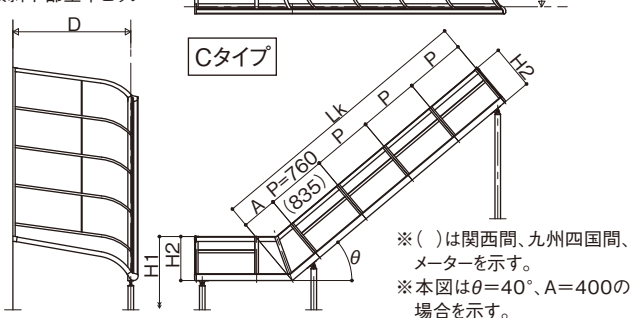
D:出幅寸法

H1:GL～垂木掛け上

H2:前枠下～垂木掛け上

Lk:傾斜部屋根幅

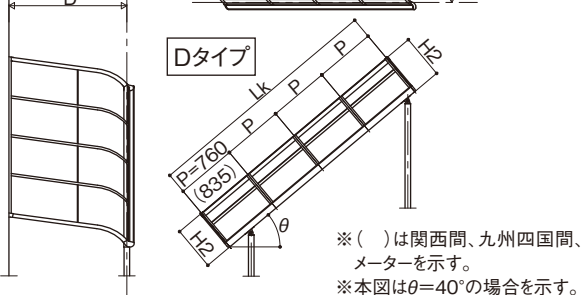
A:傾斜下部垂木ピッチ



D:出幅寸法

H2:前枠下～垂木掛け上

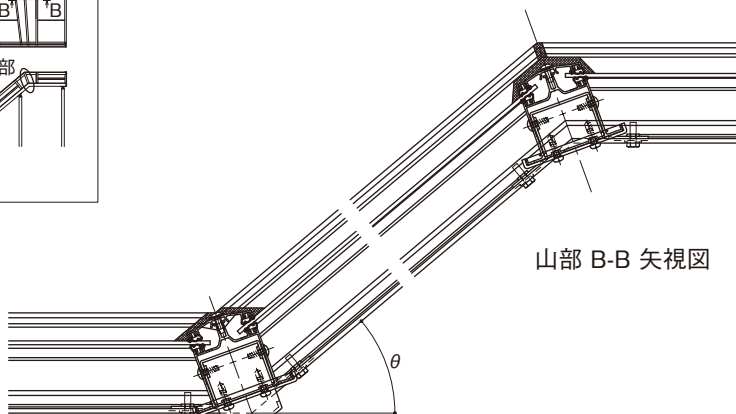
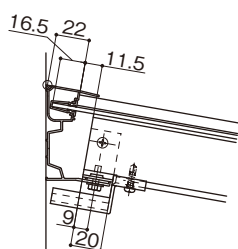
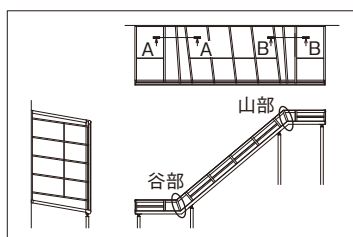
Lk:傾斜部屋根幅



■納まり図

●縦断面図

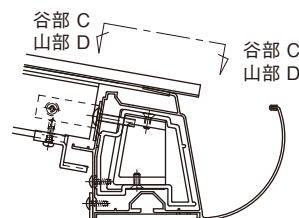
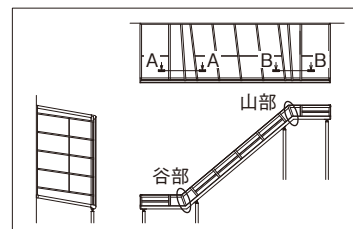
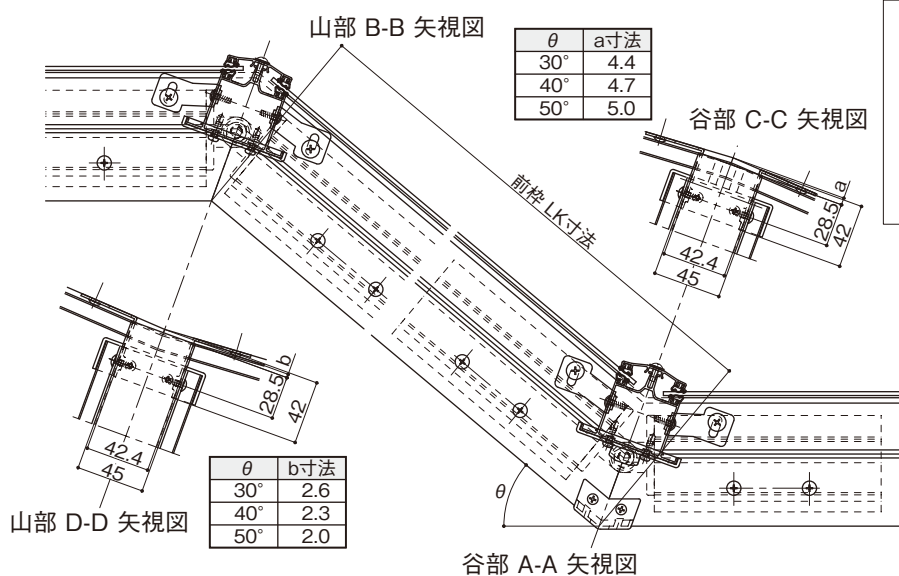
・躯体側連結



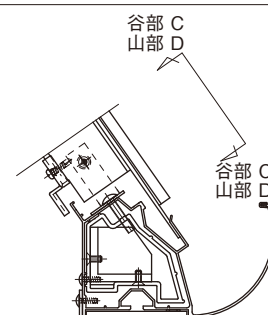
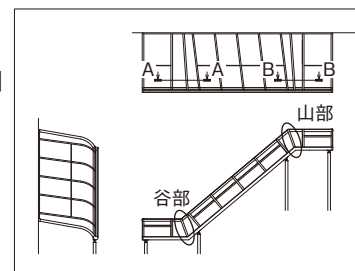
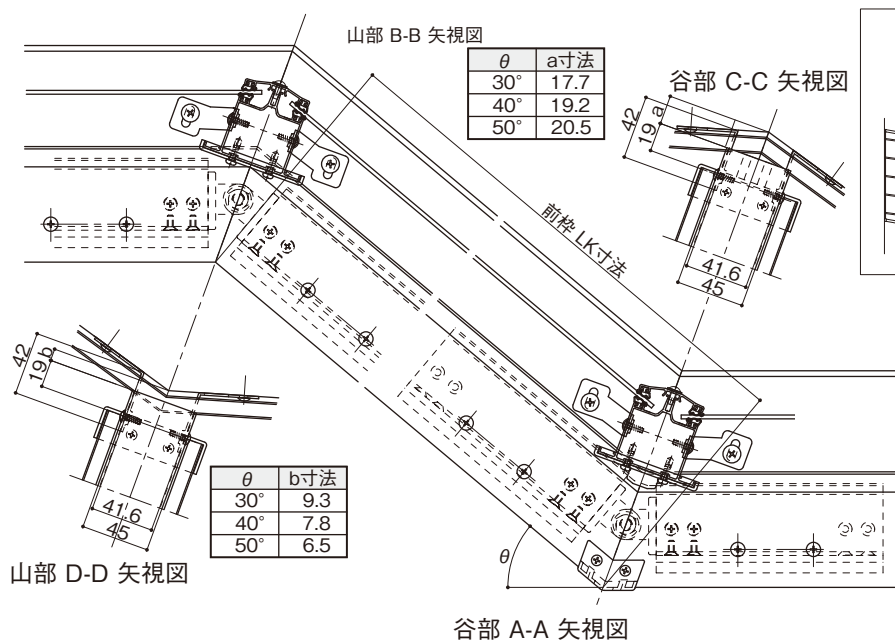
山部 B-B 矢視図

谷部 A-A 矢視図

・前枠側連結(F型)

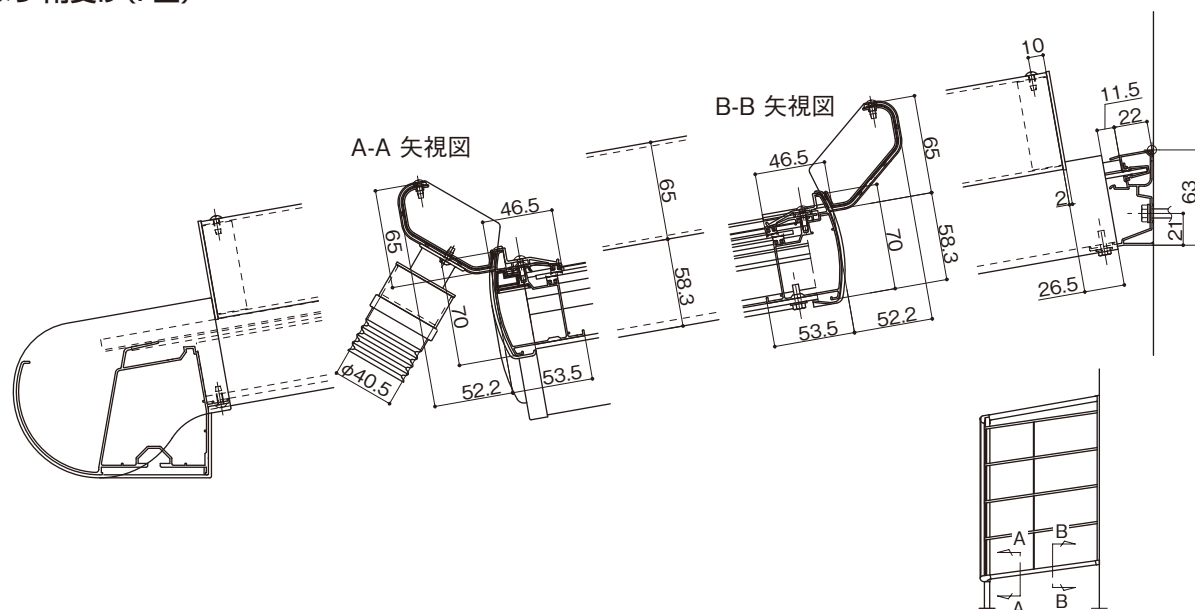


・前枠側連結(RB型)

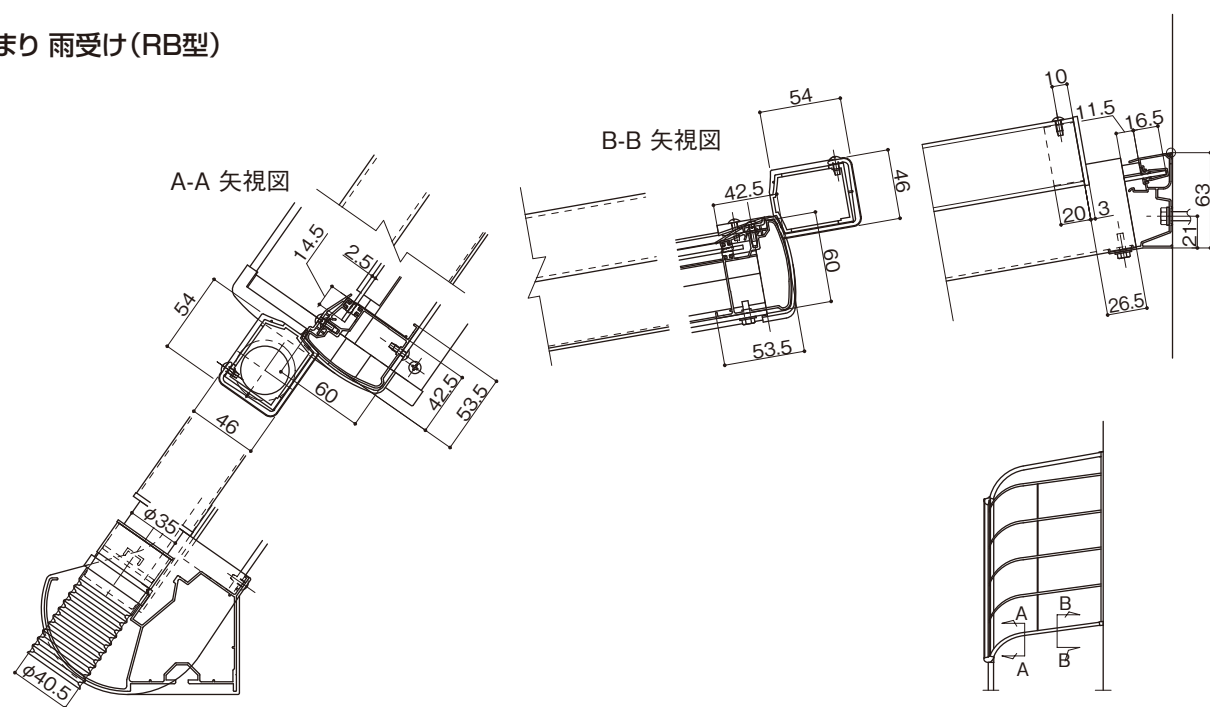


■納まり図

●階段納まり 雨受け(F型)

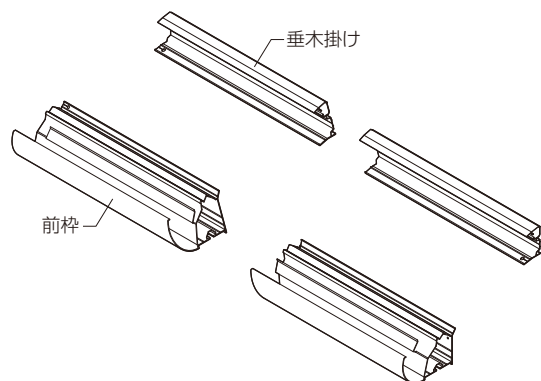


●階段納まり 雨受け(RB型)

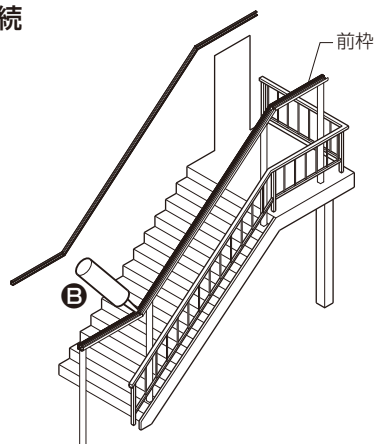


■取付け順序

①部材、パネルの切断・加工



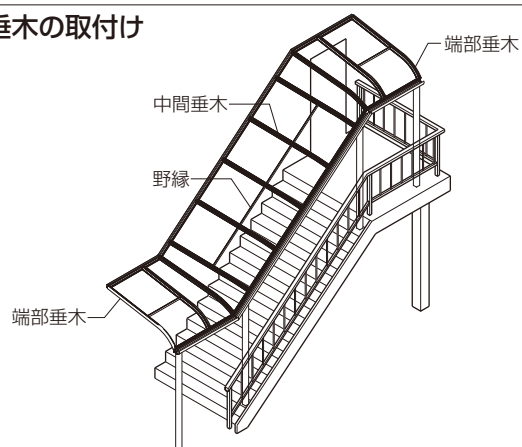
⑤前枠の接続



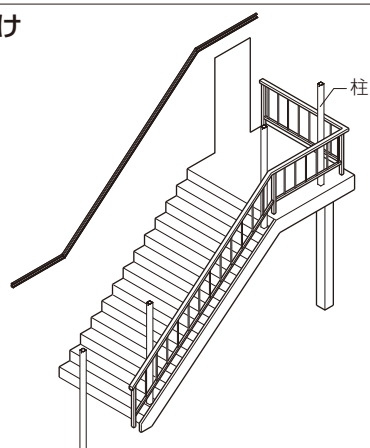
②垂木掛けの取付け



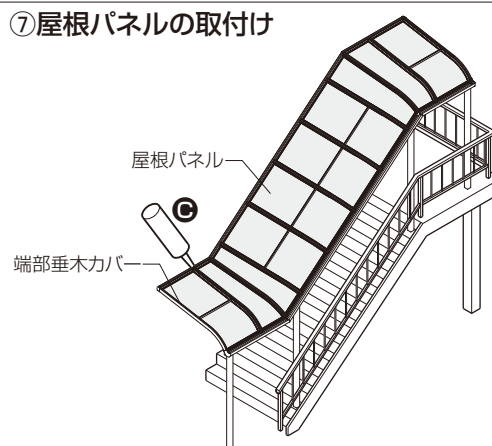
⑥垂木の取付け



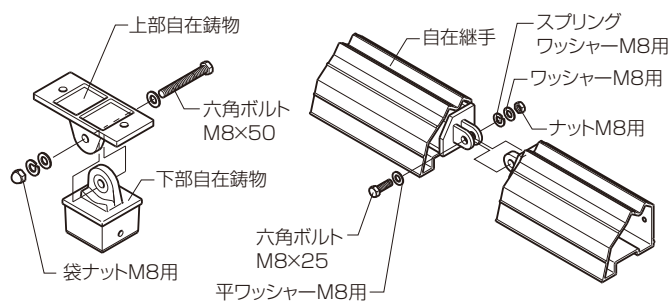
③柱の取付け



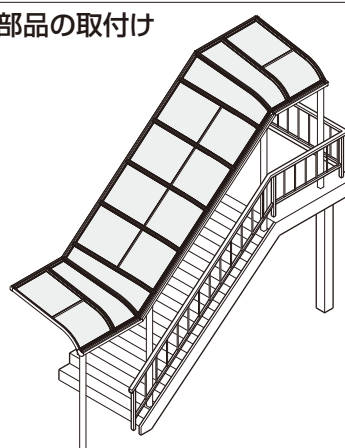
⑦屋根パネルの取付け



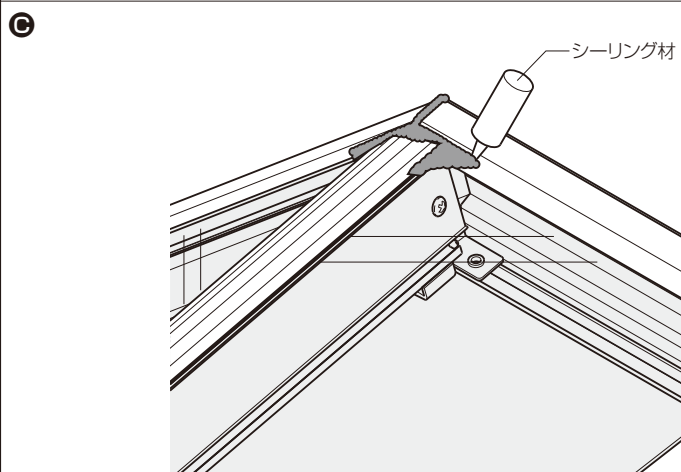
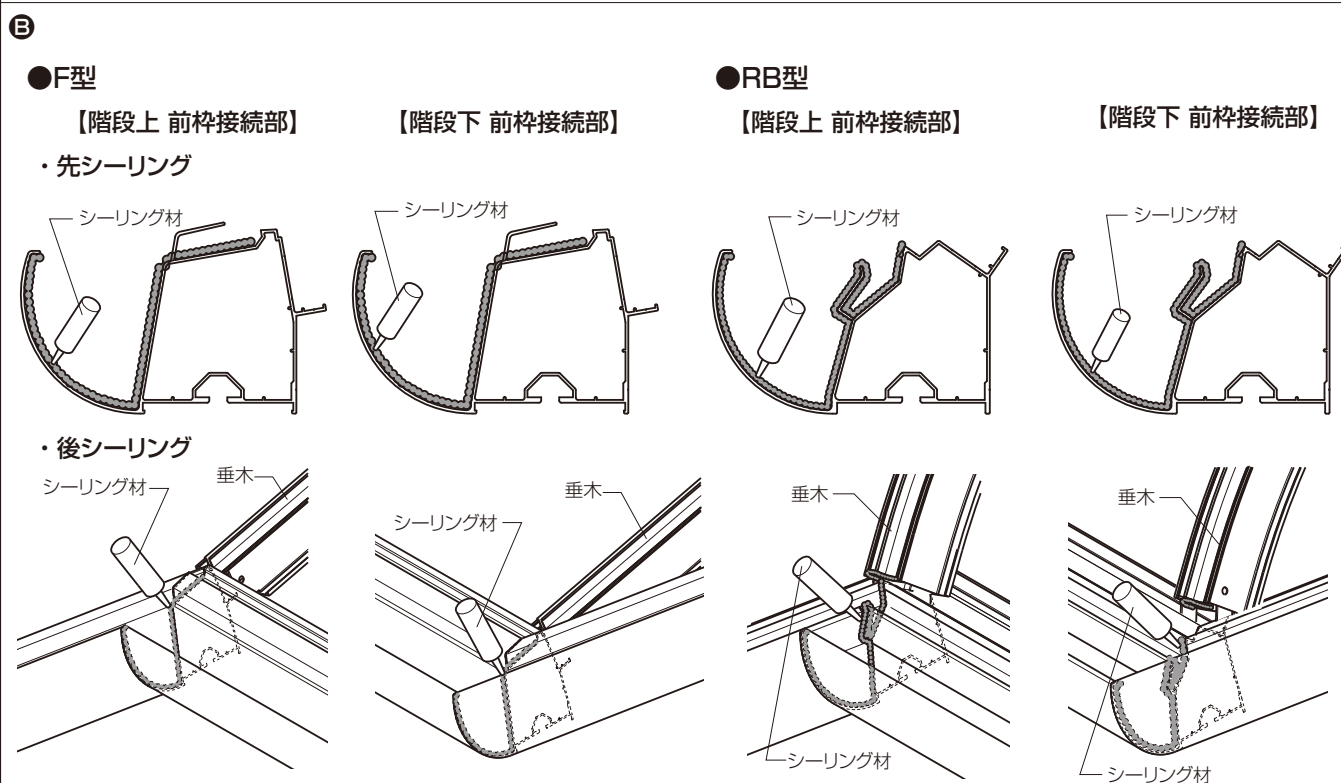
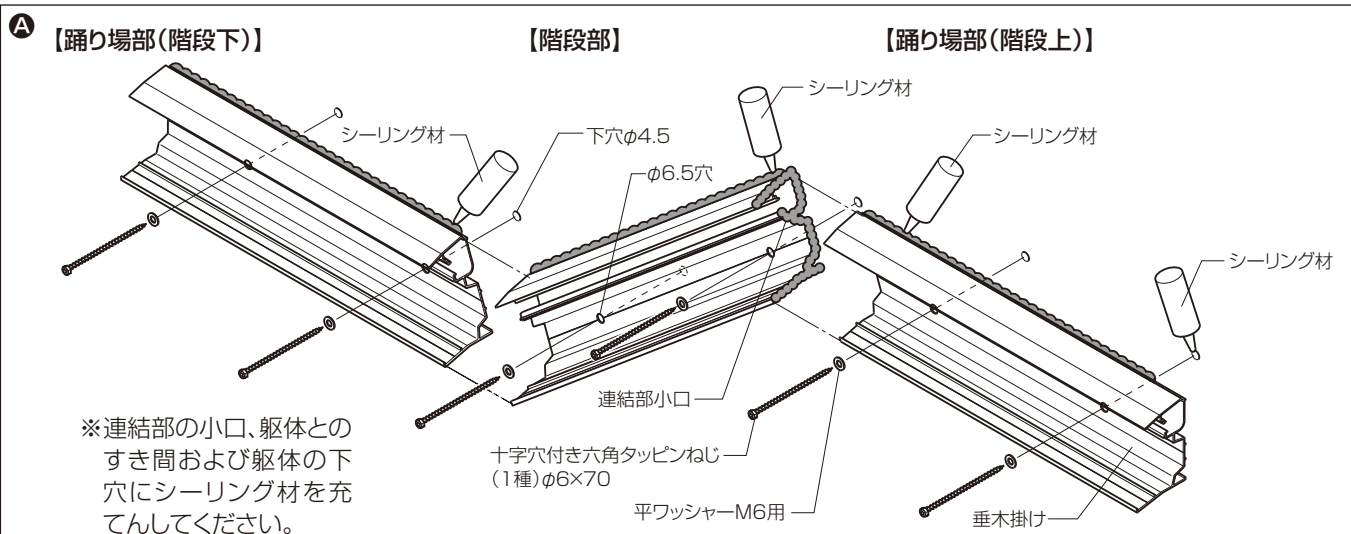
④接続部品の加工と組立て



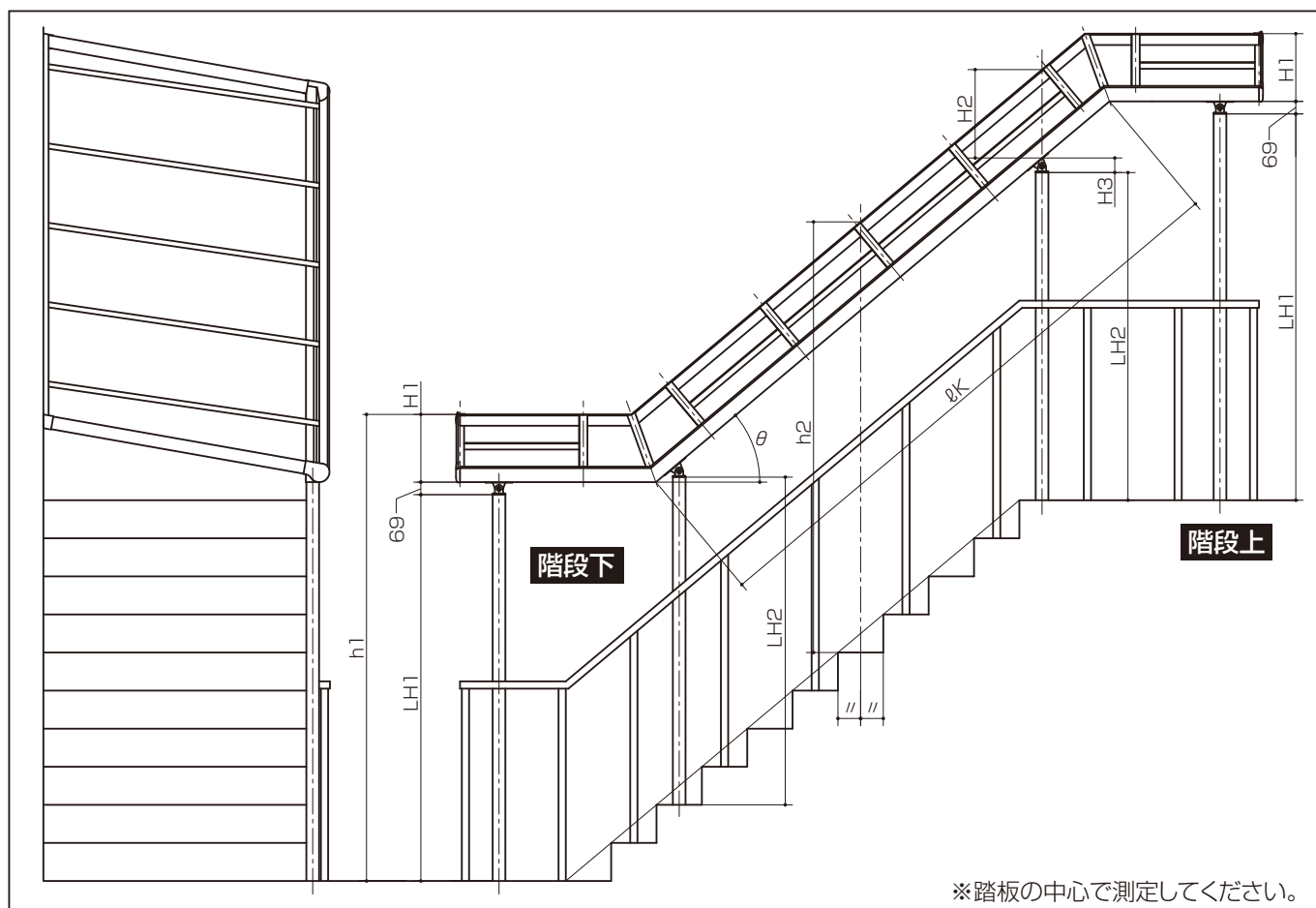
⑧雨樋排水部品の取付け



■シーリング箇所



■ 形材切断寸法



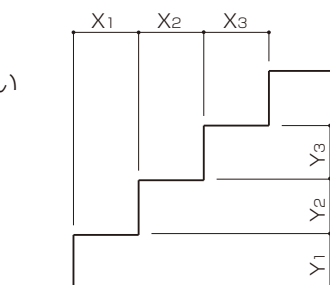
■ こう配角度θ(表-1)

θ	30°	31°	32°	33°	34°	35°	36°	37°	38°	39°	40°
Y/X	0.58	0.6	0.62	0.65	0.67	0.7	0.73	0.75	0.78	0.81	0.84
θ	41°	42°	43°	44°	45°	46°	47°	48°	49°	50°	
Y/X	0.87	0.9	0.93	0.97	1	1.04	1.07	1.11	1.15	1.19	

$$X = (X_1 + X_2 + X_3) / 3$$

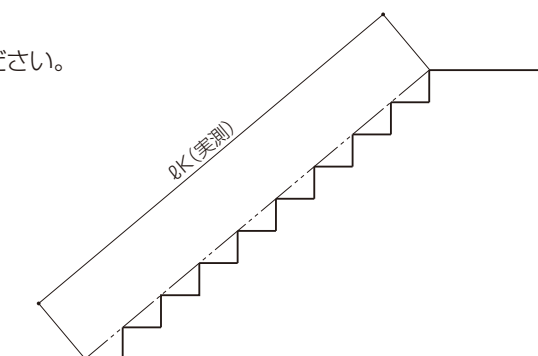
$$Y = (Y_1 + Y_2 + Y_3) / 3$$

※右図を参考にY/Xを出し、表-1の中で最も近い数値に該当する角度がθです。



■ 前枠・垂木掛けのθK寸法

※階段の図の寸法を実測してください。



■ 形材切断寸法

※前枠・垂木掛けの $\varnothing K$ 寸法を決定します。A・B寸法を範囲内で決めてください。

※ $\varnothing K$ 寸法を決定する際、端数AおよびBは納まりのタイプによって違いますので下記を参考に調整してください。

※中間スパン(760・835)を小さくする場合は、野縁・屋根パネルを切り詰めてください。

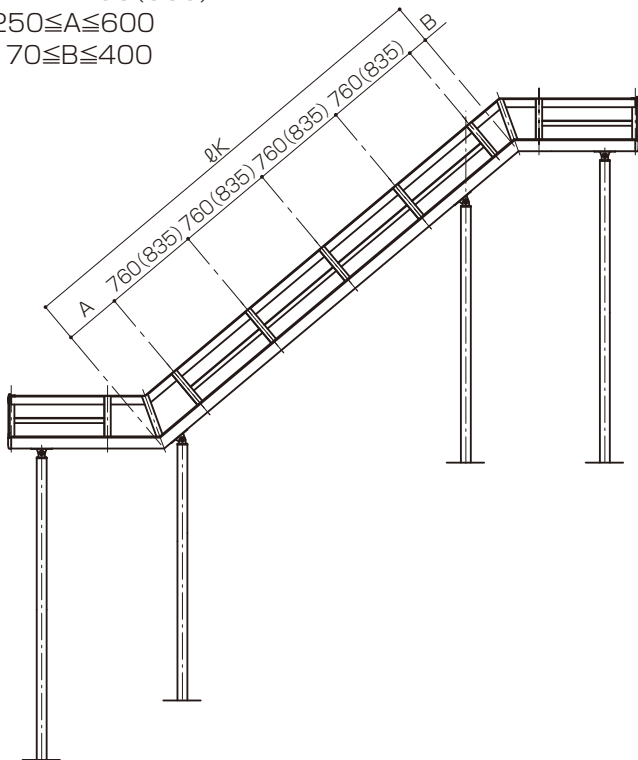
※()内寸法は地方間を示す。

● Aタイプ

$$\varnothing K = A + 760(835) \times N + B$$

$$250 \leq A \leq 600$$

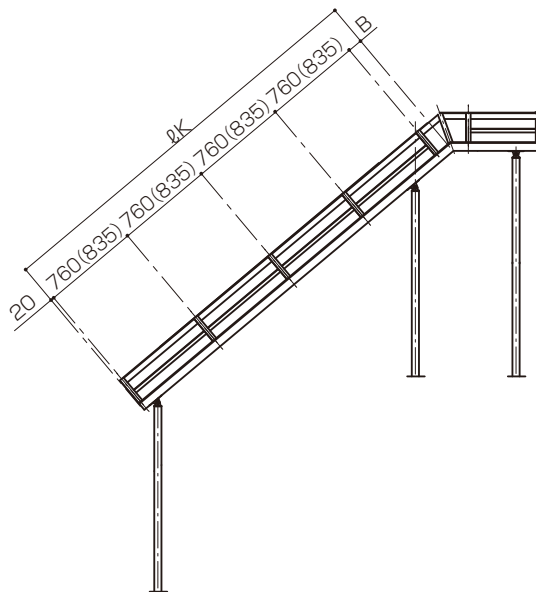
$$70 \leq B \leq 400$$



● Bタイプ

$$\varnothing K = 20 + 760(835) \times N + B$$

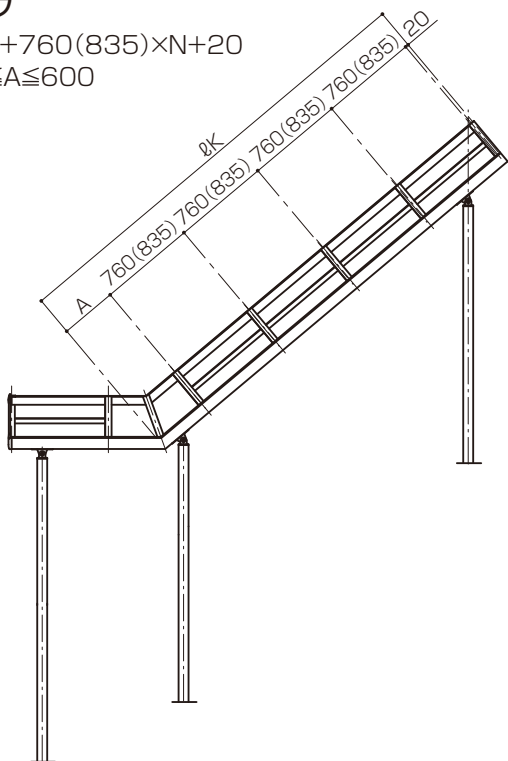
$$70 \leq B \leq 400$$



● Cタイプ

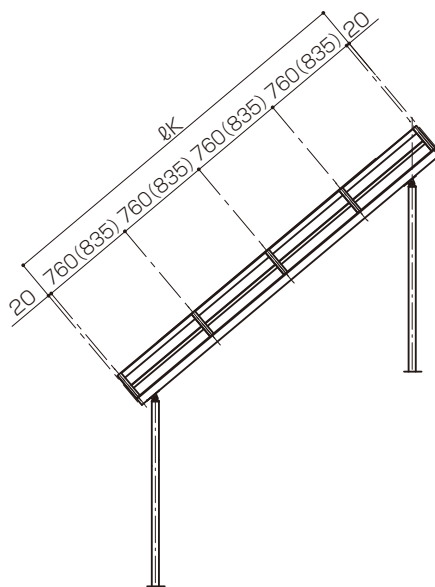
$$\varnothing K = A + 760(835) \times N + 20$$

$$250 \leq A \leq 600$$



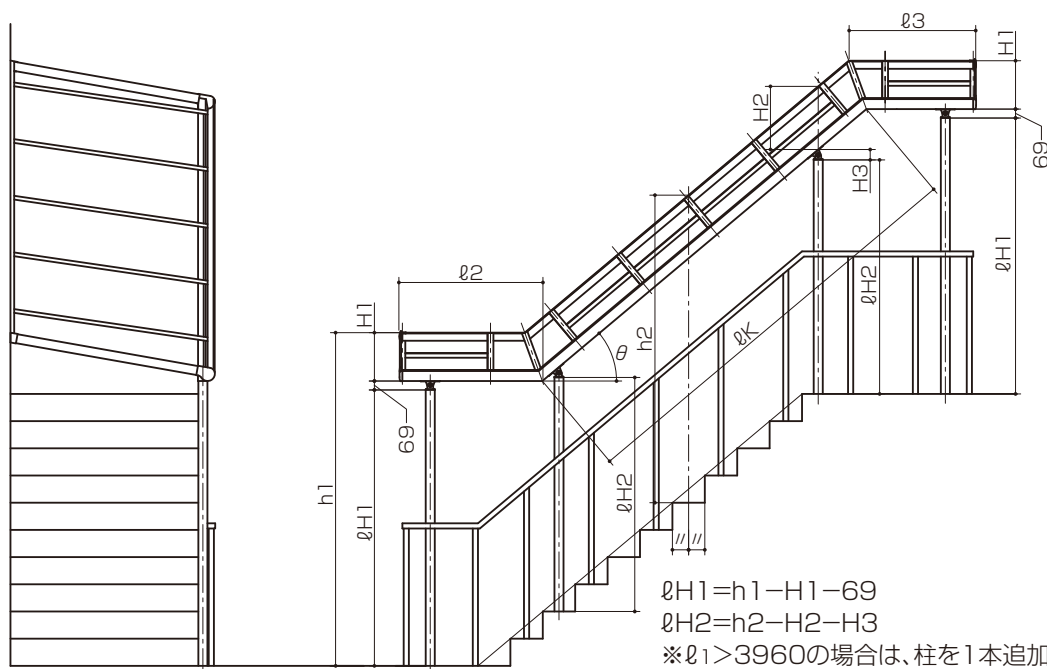
● Dタイプ

$$\varnothing K = 20 + 760(835) \times N + 20$$



■ 形材切断寸法

■ 柱H寸法



$$l1 = h1 - H1 - 69$$

$$l2 = h2 - H2 - H3$$

※ $l1 > 3960$ の場合は、柱を1本追加してください。

※ $l2, l3 > 1200$ の場合は、柱を1本追加してください。

● パワーアルファF型:H1寸法 $H1 = (d \times \tan 10^\circ) + 98.3$

d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
H1	360.2	342.5	325.0	307.5	289.5	272.0	254.4

● パワーアルファF型:H2寸法 $H2 = H1 \div \cos \theta$

	d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
H2	30°	415.9	395.5	375.3	355.1	334.3	314.1	293.8
	35°	439.7	418.1	396.8	375.4	353.4	332.1	310.6
	40°	470.2	447.1	424.3	401.4	377.9	355.1	332.1
	45°	509.4	484.4	459.6	434.9	409.4	384.7	359.8
	50°	560.4	532.9	505.6	478.4	450.4	423.2	395.8

● パワーアルファRB型:H1寸法 $H1 = (d \times \tan 10^\circ) + 292.5$

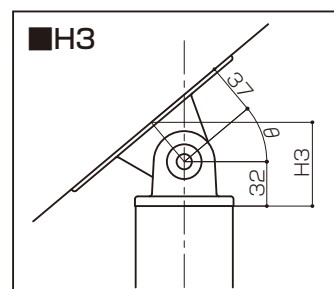
d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
H1	554.3	536.7	519.1	501.4	483.8	466.2	448.5

● パワーアルファRB型:H2寸法 $H2 = H1 \div \cos \theta$

	d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
H2	30°	640.1	619.7	599.4	579.0	558.7	538.3	517.9
	35°	676.7	655.2	633.7	612.2	590.6	569.1	547.6
	40°	723.6	700.6	677.6	654.6	631.6	608.6	585.5
	45°	784.0	759.0	734.1	709.2	684.2	659.3	634.3
	50°	862.4	835.0	807.5	780.1	752.7	725.3	697.8

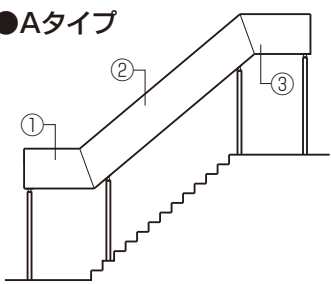
● H3寸法 $H3 = 37 \div \cos \theta + 32$

	30°	35°	40°	45°	50°
H3	74.7	77.2	80.3	84.3	89.6

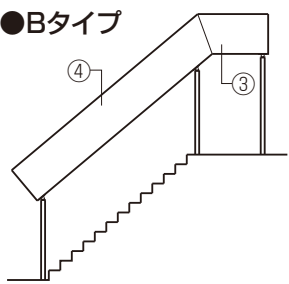


■部材の加工

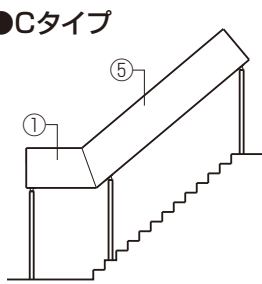
●Aタイプ



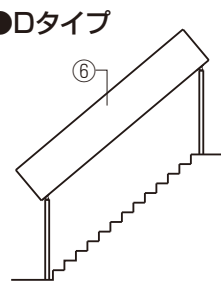
●Bタイプ



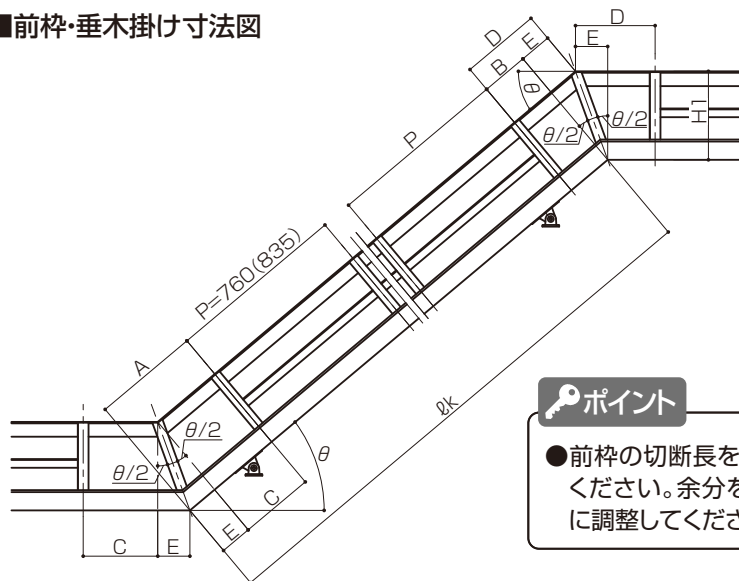
●Cタイプ



●Dタイプ



■前枠・垂木掛け寸法図

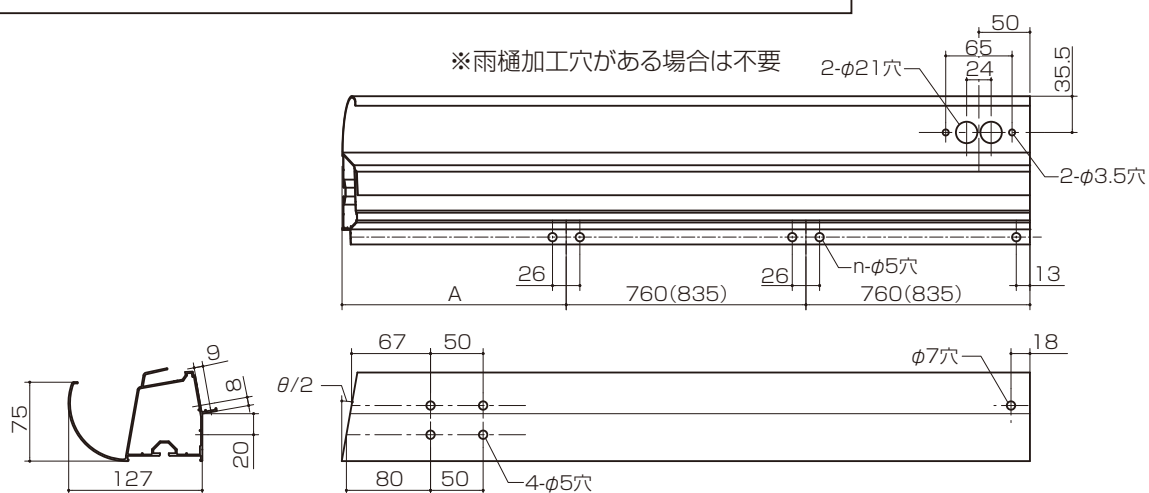


ポイント

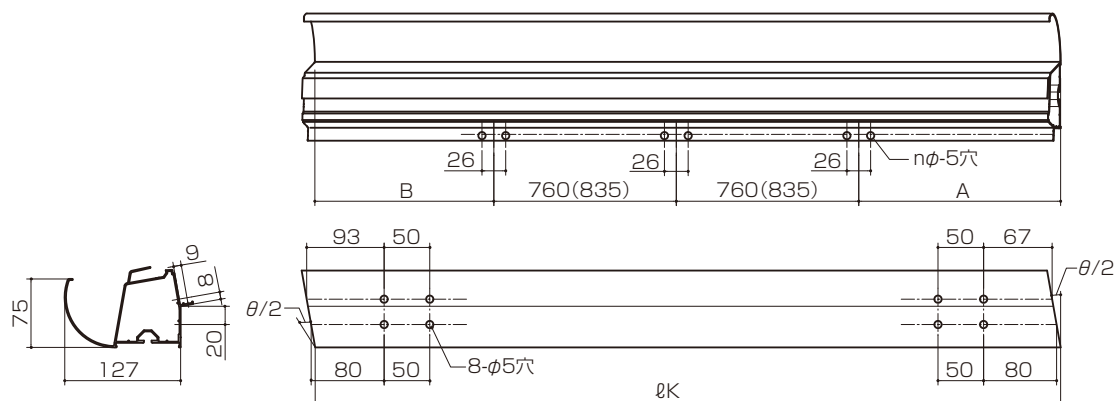
●前枠の切断長を ℓk で切断しないでください。余分をもって切断後、 ℓk に調整してください。

■前枠・垂木掛け

●F型 前枠①

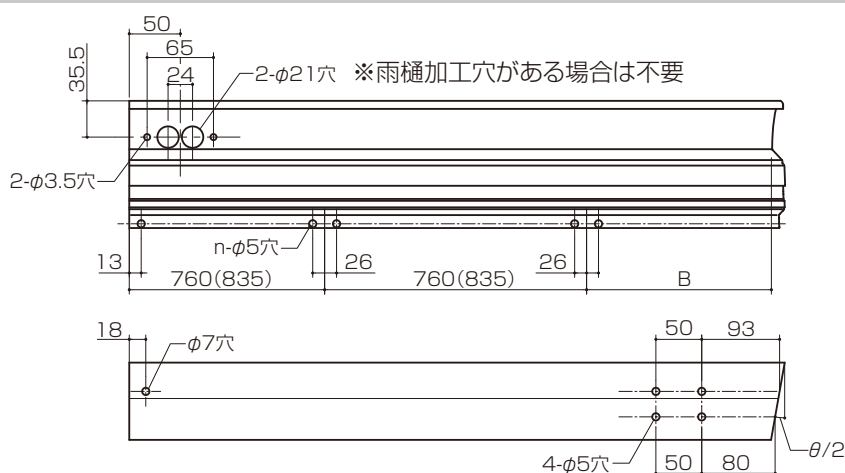
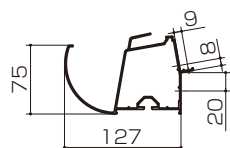


●F型 前枠②

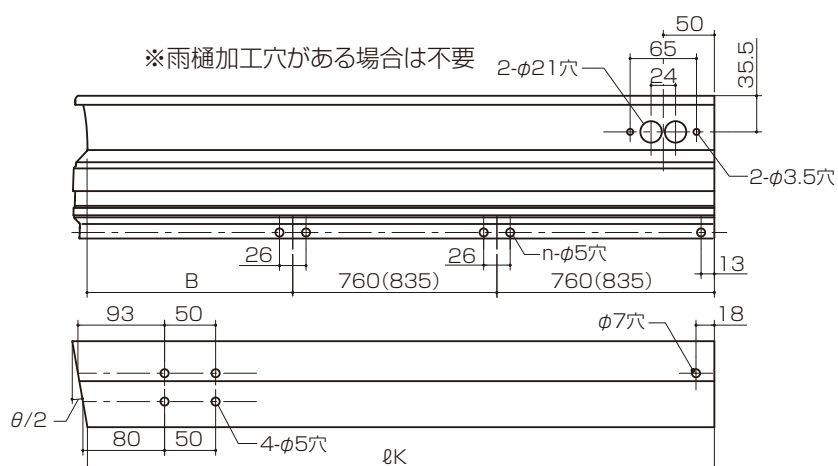
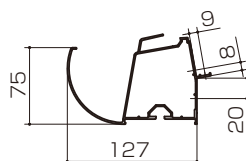


■部材の加工

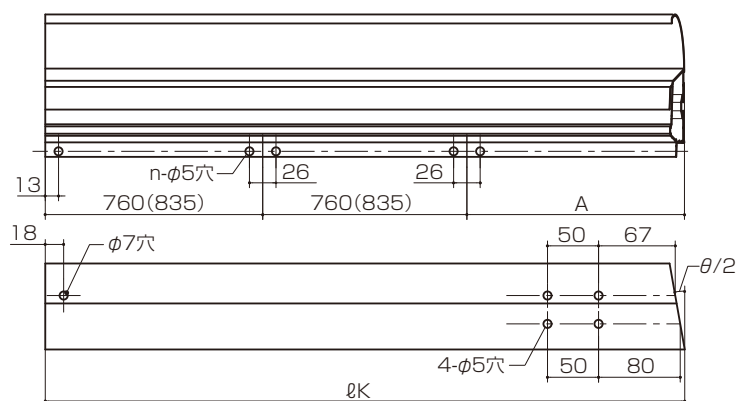
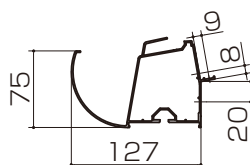
●F型 前枠③



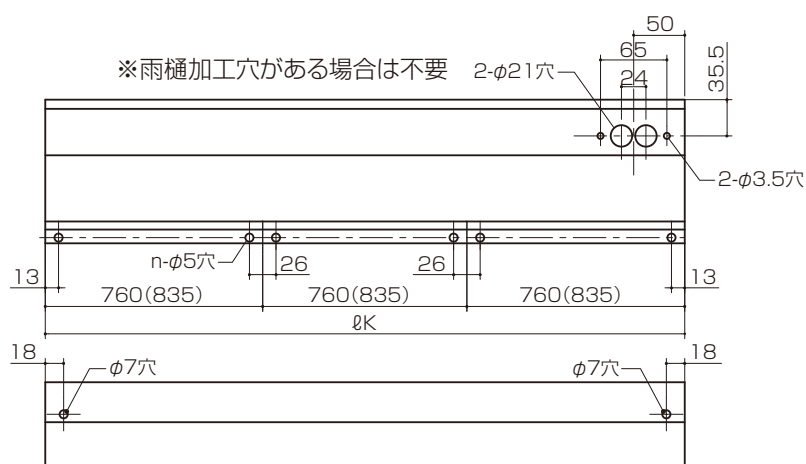
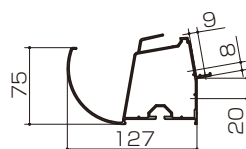
●F型 前枠④



●F型 前枠⑤

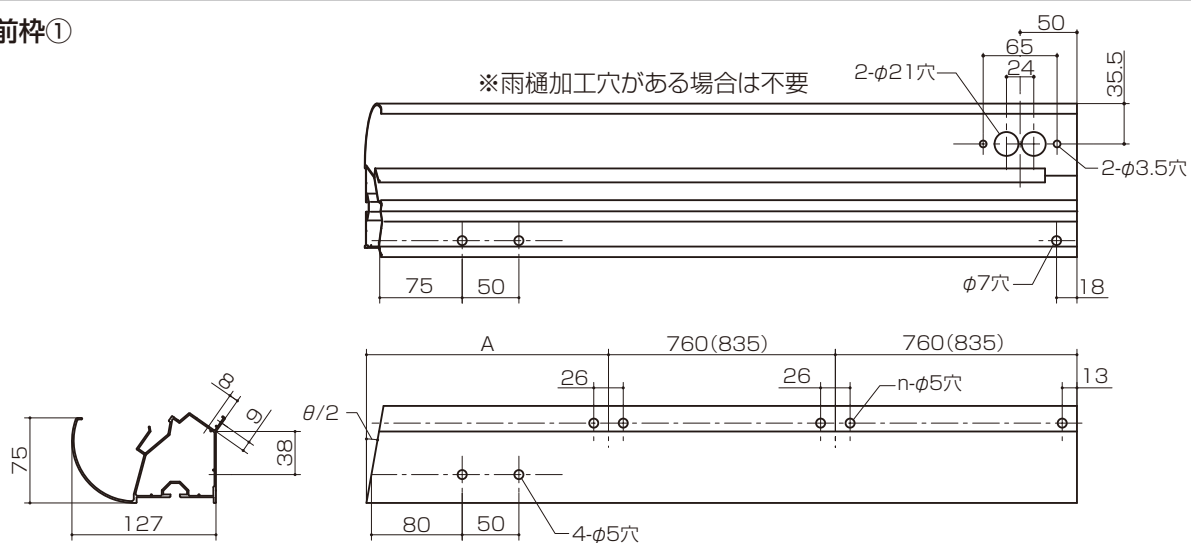


●F型 前枠⑥

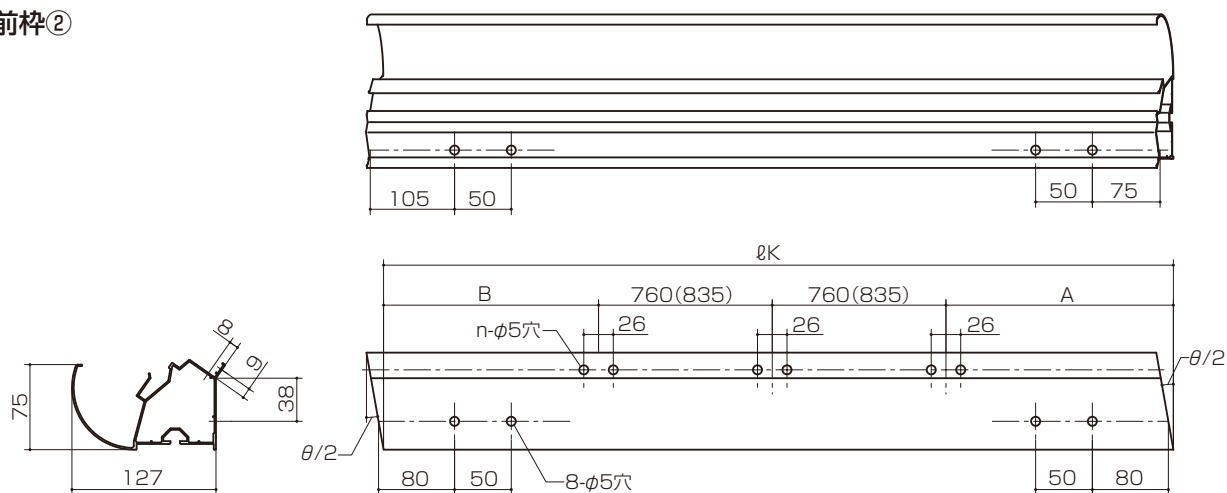


■部材の加工

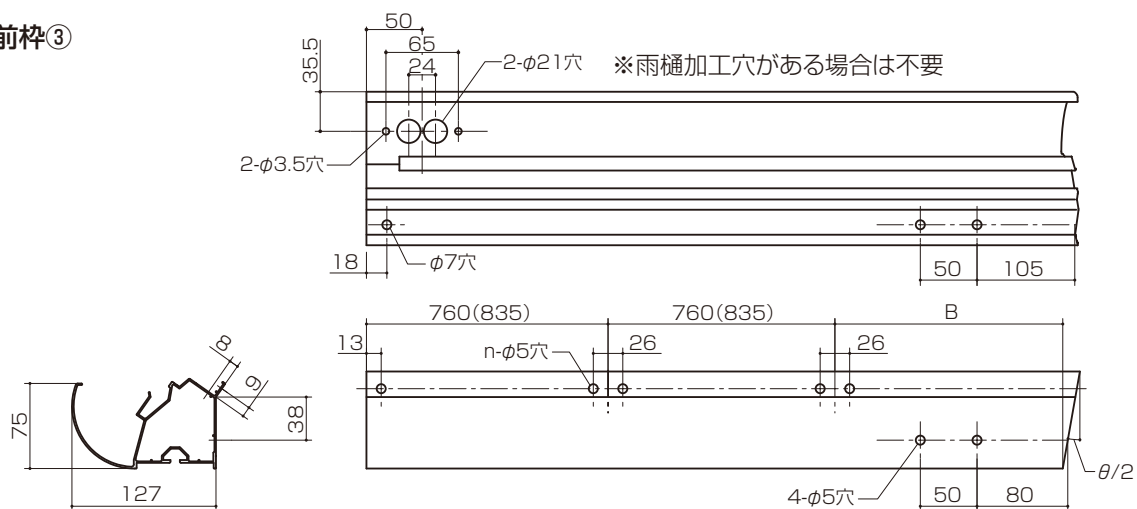
●RB型 前枠①



●RB型 前枠②

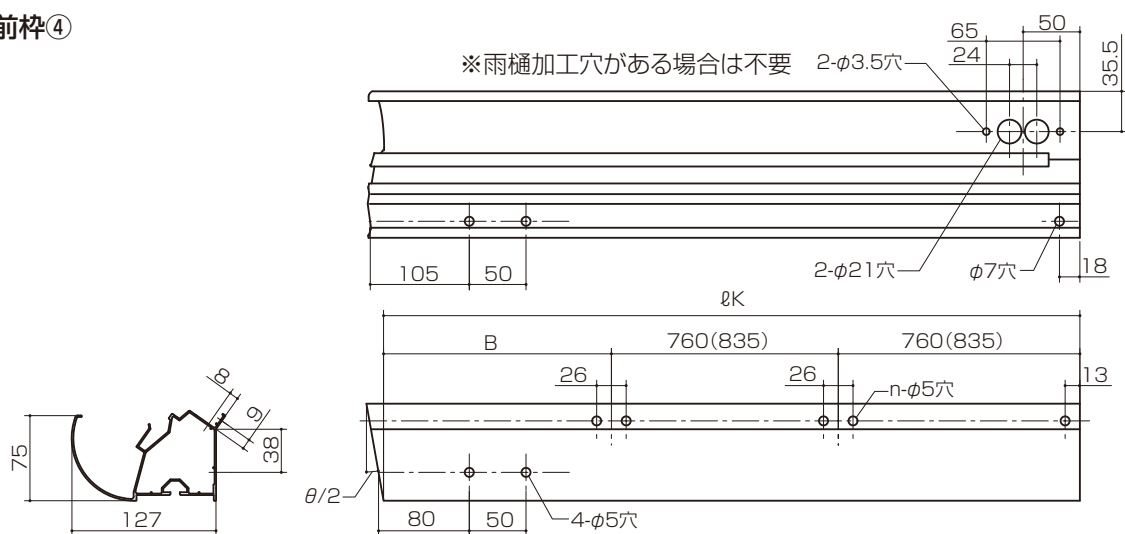


●RB型 前枠③

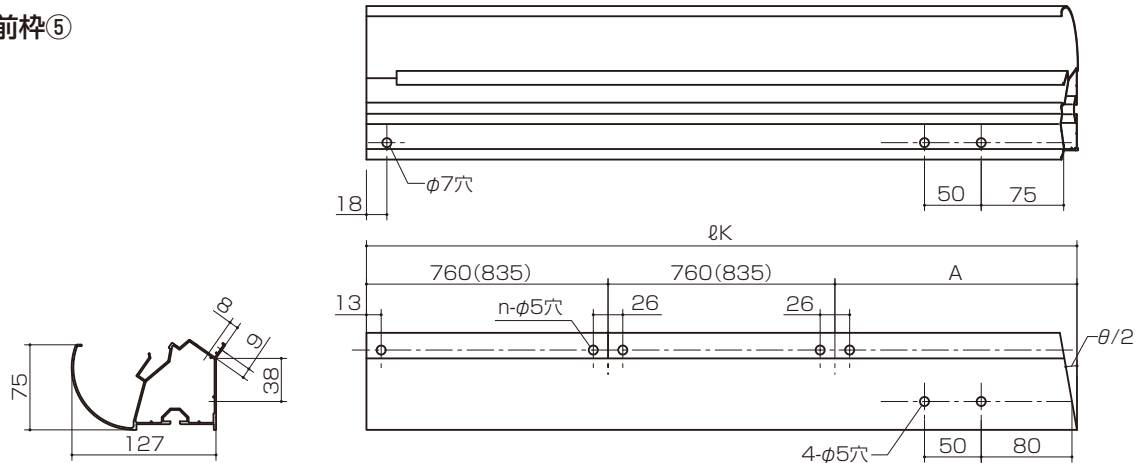


■部材の加工

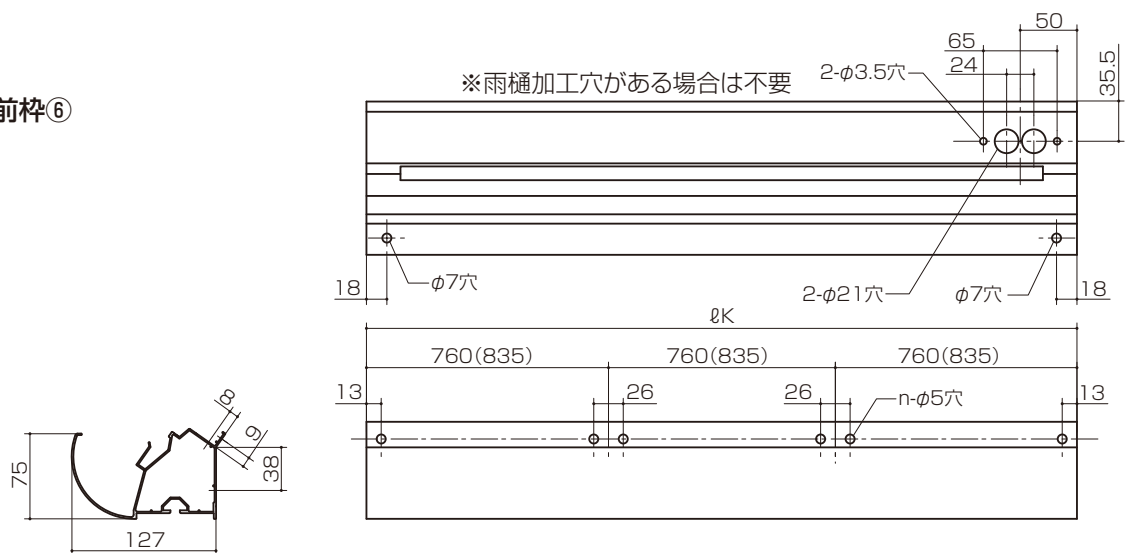
●RB型 前枠④



●RB型 前枠⑤

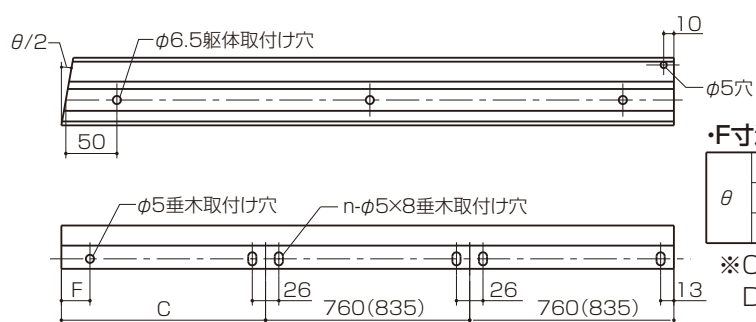
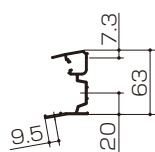


●RB型 前枠⑥



■部材の加工

●垂木掛け①

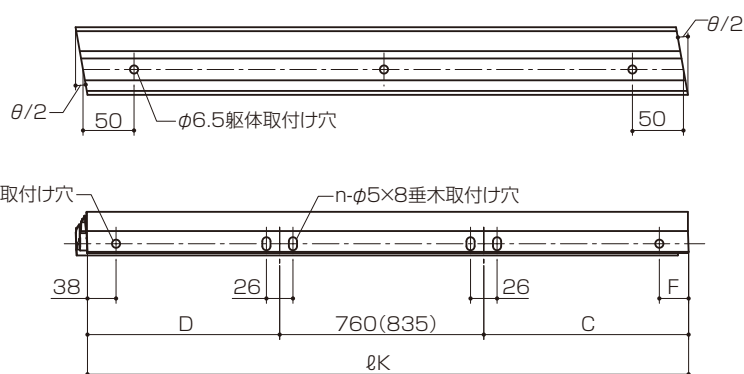
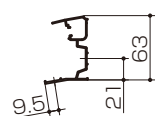


・F寸法表

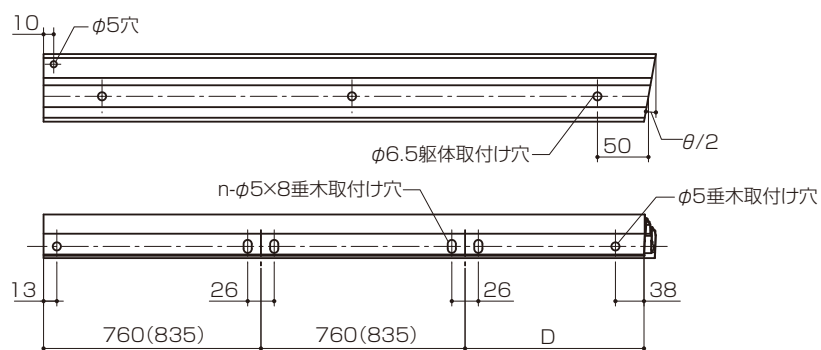
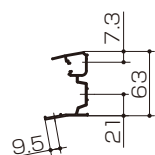
θ	30°	41.5
40°	42.5	
50°	44	

※C=A-E
D=B+E

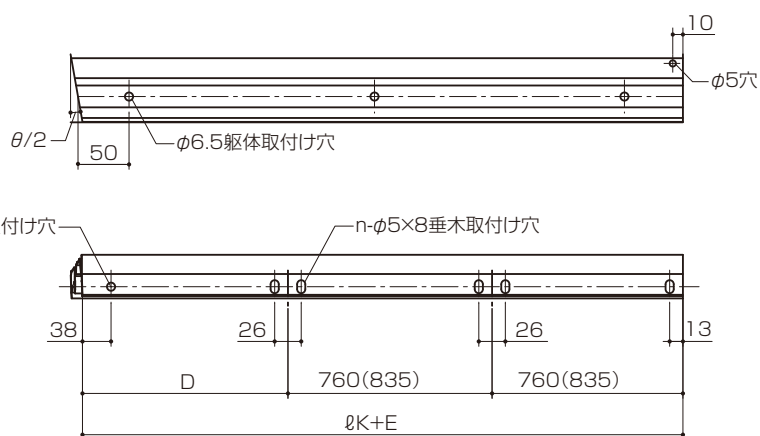
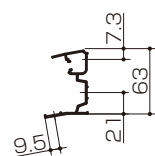
●垂木掛け②



●垂木掛け③

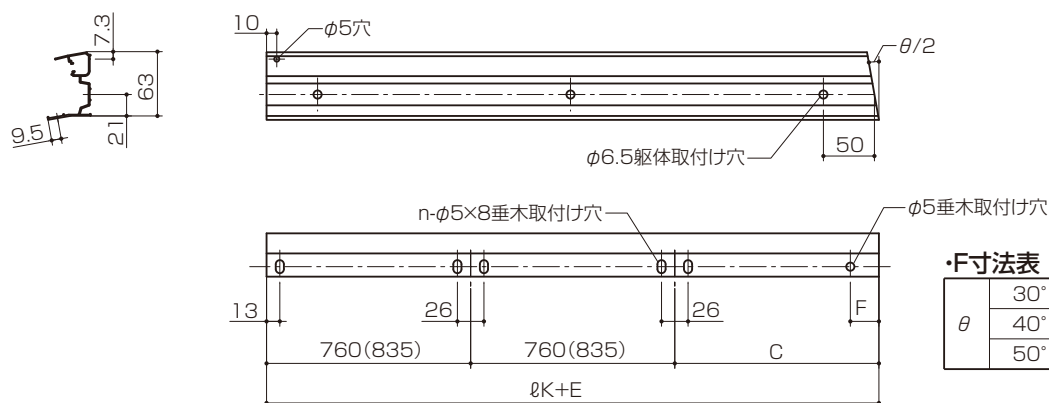


●垂木掛け④



■部材の加工

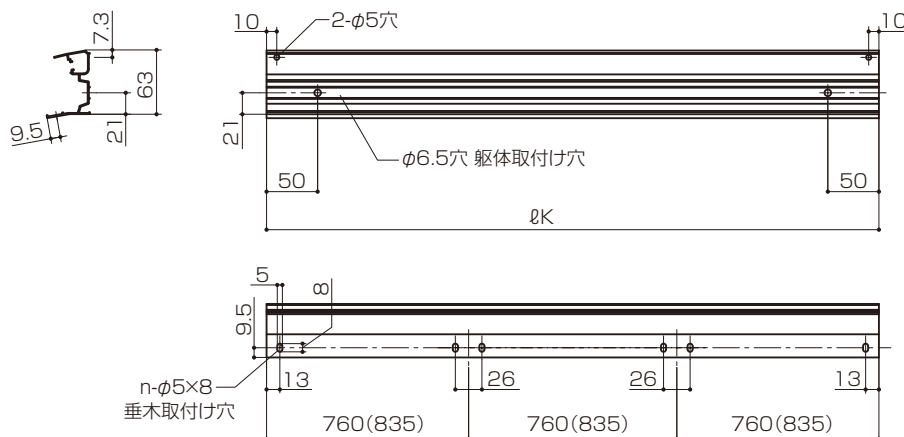
●垂木掛け⑤



・F寸法表

θ	30°	41.5
40°	42.5	
50°	44	

●垂木掛け⑥



●(垂木掛け)E寸法表

・パワーアルファF型

$$E = H1 \times \tan(\theta/2) \quad (H1 = (d \times \tan 10^\circ) + 98.3)$$

(単位:mm)

	d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
E	30°	96.5	91.8	87.1	82.3	77.6	72.9	68.2
	35°	113.6	108.0	102.4	96.9	91.3	85.8	80.2
	40°	131.1	124.7	118.2	111.8	105.4	99.0	92.6
	45°	149.2	141.9	134.6	127.3	120.0	112.7	105.4
	50°	168.0	159.7	151.5	143.3	135.0	126.8	118.6

・パワーアルファRB型

$$E = H1 \times \tan(\theta/2) \quad (H1 = (d \times \tan 10^\circ) + 292.5)$$

(単位:mm)

	d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
E	30°	148.6	143.8	139.1	134.4	129.6	124.9	120.3
	35°	174.9	169.2	163.7	158.2	152.5	147.0	141.5
	40°	201.9	195.3	188.9	182.6	176.1	169.7	163.3
	45°	229.7	222.3	215.0	207.8	200.4	193.1	185.9
	50°	258.6	250.3	242.1	233.9	225.6	217.4	209.3

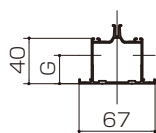
■部材の加工

■垂木・垂木カバー

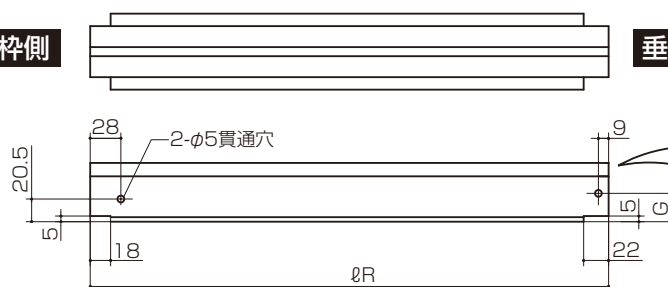
●F型 垂木(連結部)

・G寸法表

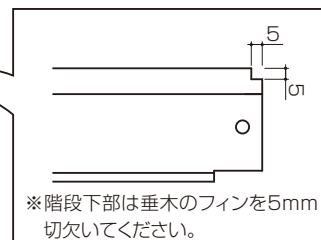
θ	30°	25
	40°	24
	50°	23



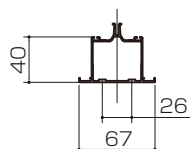
前枠側



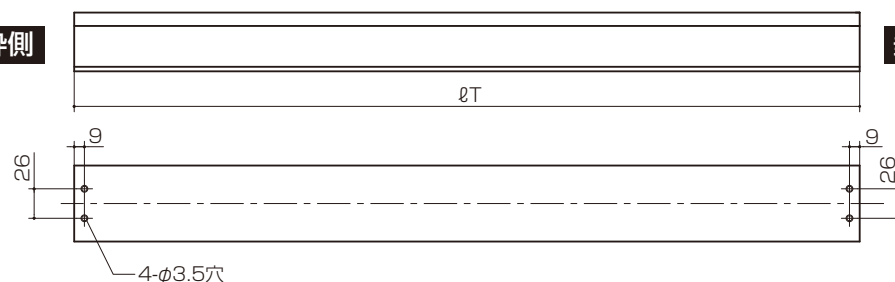
垂木掛け側



●F型 垂木(中間部)

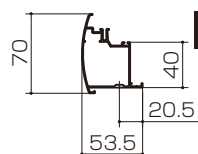


前枠側

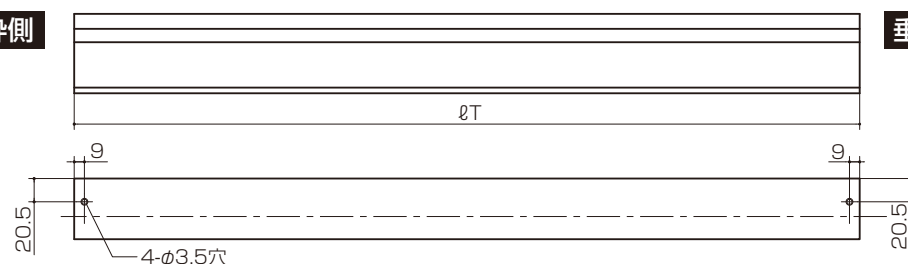


垂木掛け側

●F型 垂木(端部)

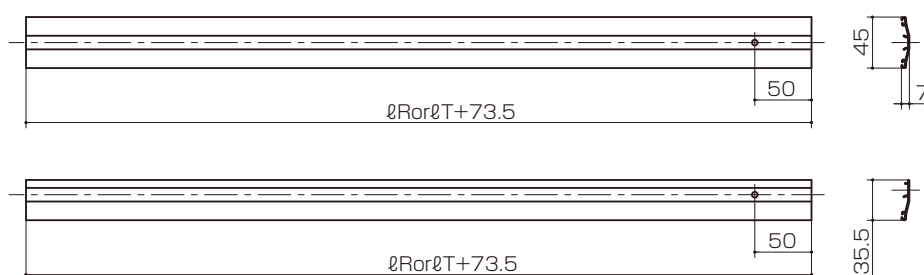


前枠側



垂木掛け側

●F型 屋根材カバー



■垂木(連結部)ℓR寸法

(単位:mm)

	d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
θ	30°	1449.4	1347.8	1246.1	1144.5	1042.8	941.2	839.5
	35°	1449.6	1348.0	1246.3	1144.6	1042.9	941.2	839.5
	40°	1450.5	1348.8	1247.0	1145.3	1043.5	941.8	840.0
	45°	1451.3	1349.5	1247.7	1145.9	1044.1	942.3	840.5
	50°	1451.8	1350.0	1248.2	1146.4	1044.6	942.8	841.0

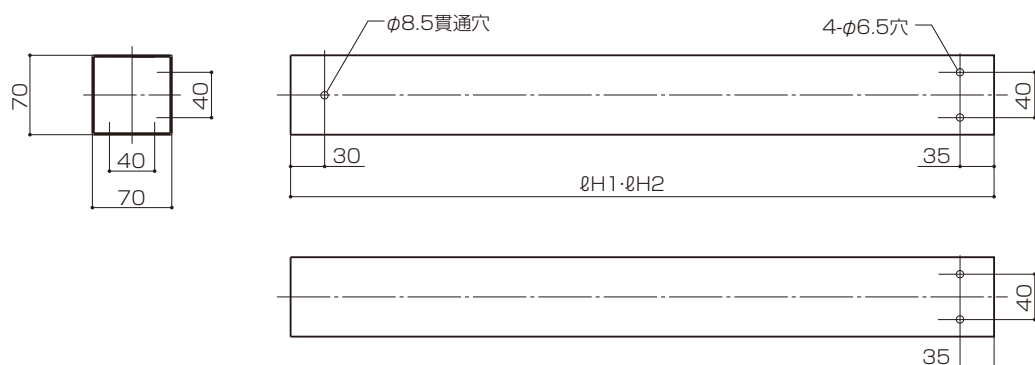
■垂木(中間部・端部)ℓT寸法

(単位:mm)

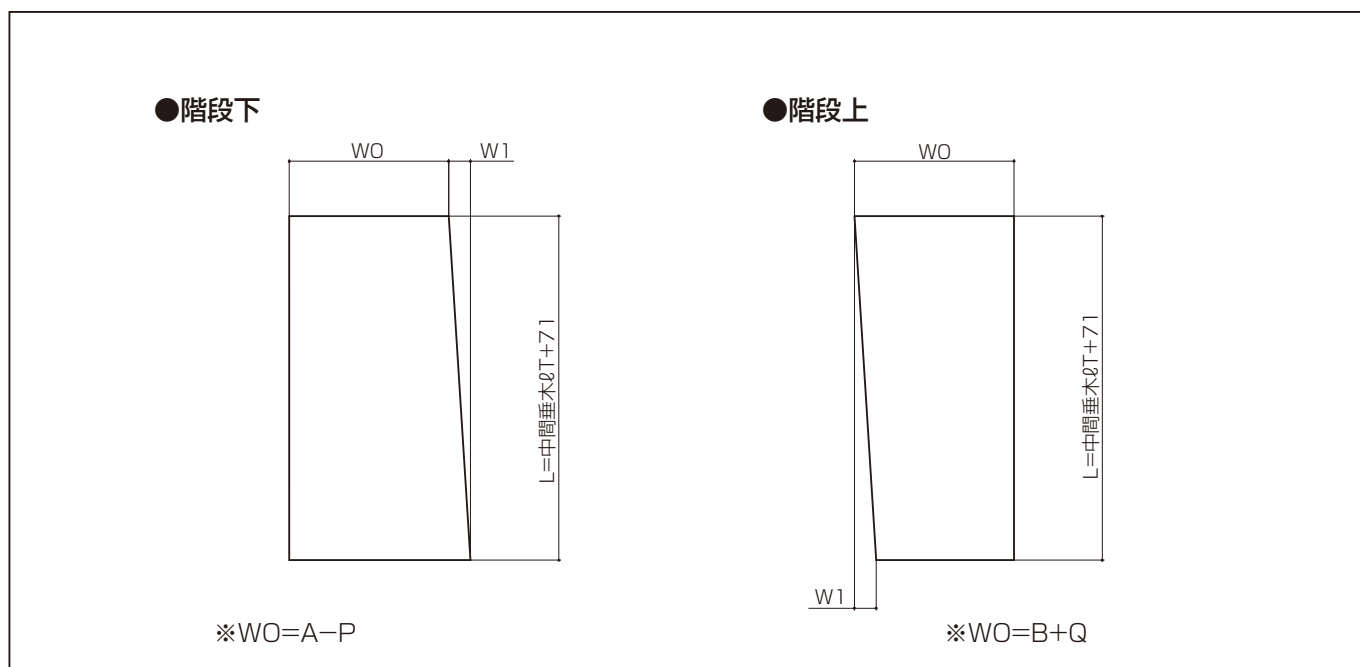
d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
ℓT	1447.5	1346	1244.5	1143	1041.5	940	838.5

■部材の加工

■柱



■F型 パネルの加工 ※連結部のもう1枚のパネルは、下図と対称形です。



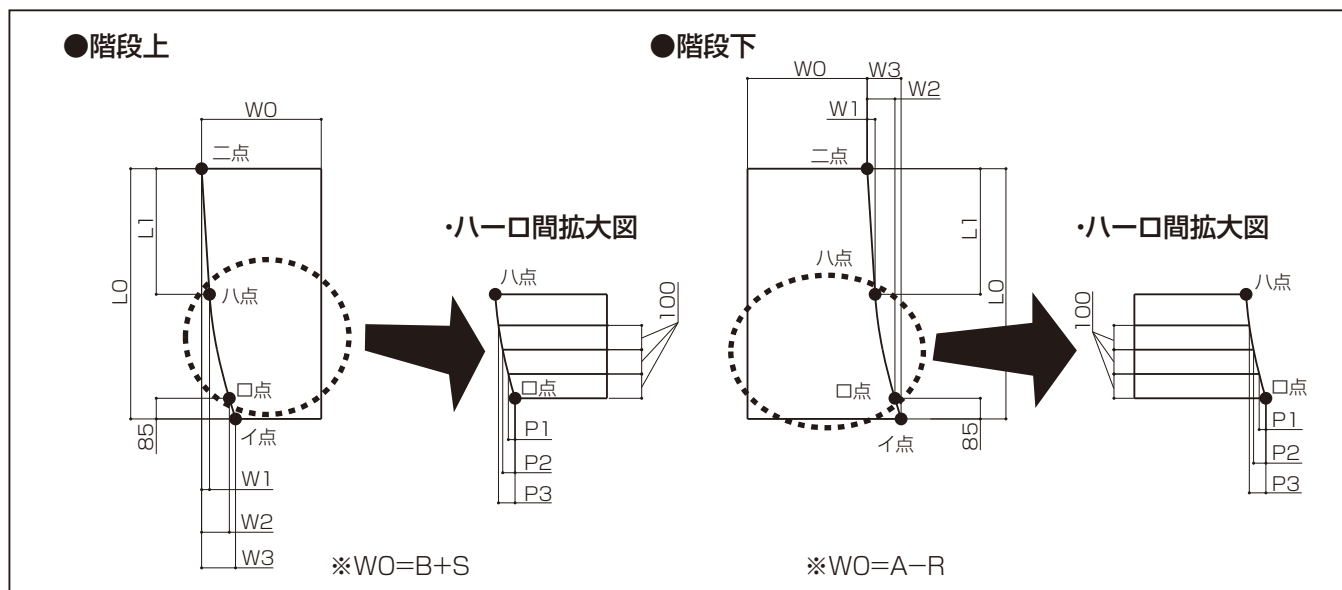
●P・Q・W・L寸法表

(単位:mm)

	d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
P	30°	109	105	100	95.5	90.5	86	81.5
	35°	126	120.5	115	109.5	104	98.5	93
	40°	143.5	137	130.5	124	117.5	111	105
	45°	161	153.5	146.5	137	131.5	124.5	117
	50°	179	171	163	154.5	146.5	138	130
Q	30°	77	72.5	67.5	63	58	53.5	48.5
	35°	93.5	88	82.5	76.5	71	65.5	60
	40°	110.5	104	97.5	91	84.5	78	71.5
	45°	127.5	120.5	113	105.5	98.5	91	84
	50°	146	137.5	129	121	112.5	104.5	96.5
W1	30°	70.5	66	61	56.5	52	47	42.5
	35°	83	77.5	72	66.5	61	55.5	48
	40°	96	89.5	83	76.5	70.5	64	57.5
	45°	109	102	94.5	87.5	80	72.5	65.5
	50°	123	114.5	106.5	98.5	90	82	73.5
L		1518.5	1417	1315.5	1214	1112.5	1011	909.5

■部材の加工

■パネルの加工〔アルファテラスRB型〕 ※連結部のもう1枚のパネルは、下図と対称形です。



●P寸法表

(単位:mm)

	30°	35°	40°	45°	50°
P1	20.5	24	27.5	31.5	35.5
P2	37.5	44	50.5	57.5	65
P3	50	59	68	77.5	87.5

●R・S・W・L寸法表

(単位:mm)

	d	1485	1385	1285	1185	1085	985	885
R	30°	161.5	157	152	147.5	143	138	133.5
	35°	187.5	182	176.5	171	165	159.5	154
	40°	214	207.5	201	195	188.5	182	175.5
	45°	241.5	234	227	217.5	212	205	197.5
	50°	270	261.5	253.5	245	237	229	220.5
S	30°	129	124.5	119.5	115	110	105.5	101
	35°	154.5	149	143.5	138	132.5	127	121.5
	40°	181	174.5	168	161.5	155.5	149	142.5
	45°	208	201	193.5	184	179	171.5	164.5
	50°	236	228	220	211.5	203.5	195	187
W1	30°	52.5	47.5	43	38	33.5	29	24
	35°	61.5	56	50.5	45	39.5	34	28.5
	40°	71	64.5	58.5	52	45.5	39	32.5
	45°	81	73.5	66.5	57	52	44.5	37
	50°	91	83	74.5	66.5	58.5	50	42
W2	30°	112.5	107.5	103	98.5	93.5	89	84
	35°	132.5	126.5	121	115.5	110	104.5	99
	40°	152.5	146.5	140	133.5	127	120.5	114
	45°	174	166.5	159	150	144.5	137.5	130
	50°	195.5	187.5	179	171	163	154.5	146.5
W3	30°	131	126.5	121.5	117	112.5	107.5	103
	35°	154.5	149	143	137.5	132	126.5	121
	40°	178	171.5	165.5	159	152.5	146	139.5
	45°	203	195.5	188	178.5	173.5	166	159
	50°	228.5	220	212	203.5	195.5	187	179
L0		1639	1537.5	1436	1334.5	1233	1131.5	1030
L1		1126	1024.5	923	821.5	720	618.5	517

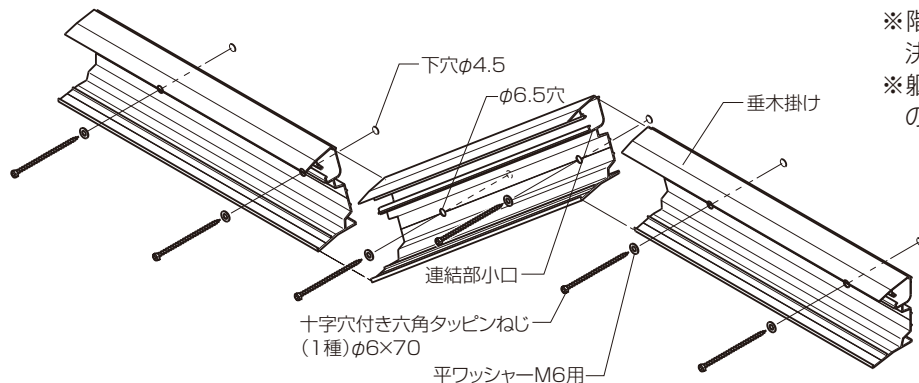
■構造説明図(取付け順序②～④)

■垂木掛けの取付け

【踊り場部(階段下)】

【階段部】

【踊り場部(階段上)】

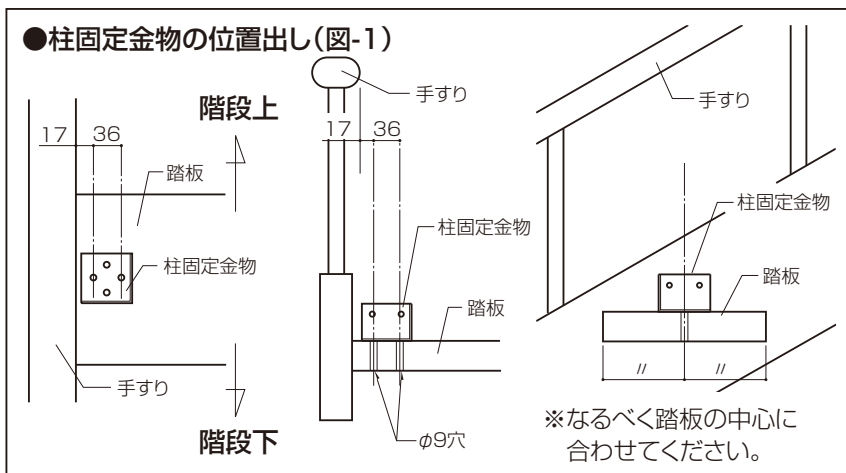


※階段部は傾斜に合わせて、垂木掛け位置を決めてください。

※躯体の柱および間柱の位置に合わせてV溝の位置にφ6.5の穴をあけてください。

■柱の取付け

●柱固定金物の位置出し(図-1)



※階段に裏板がある場合は、踏板の鉄板にM8のタップ穴をあけ、ボルト止めします。

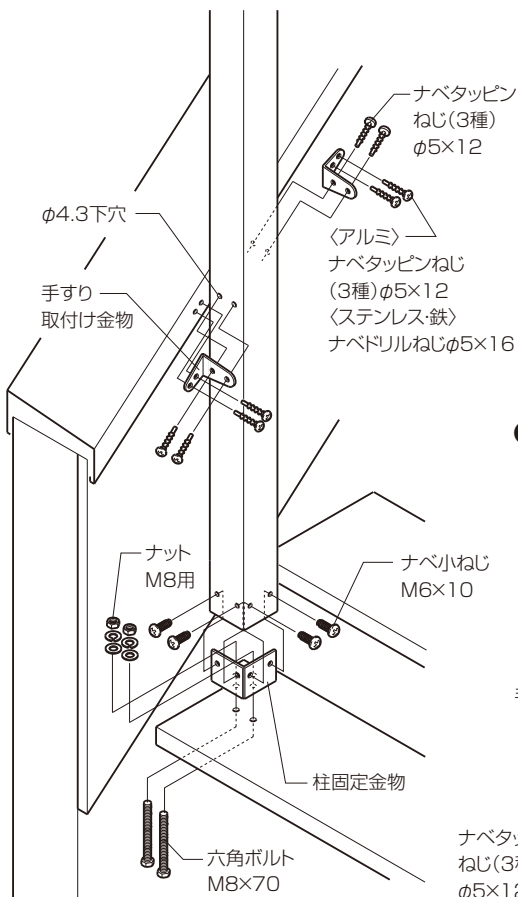
※アルミ製手すりの場合はφ4.3の下穴をあけ、ナベタッピンねじ(3種)φ5×12で固定します。

※ステンレス・鉄製手すりの場合、φ4.3の下穴をあけ、ナベドリルねじφ5×16で固定します。

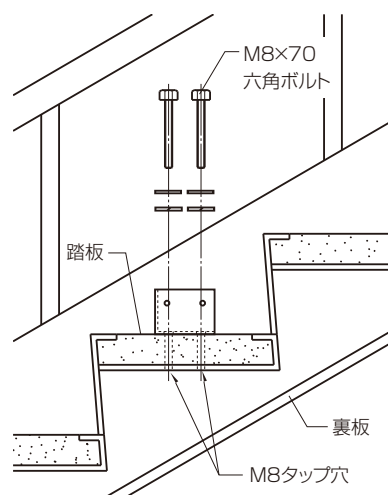
※丸い手すりの場合は、手すり取付け金物と手すりを止めるねじは1本ずつになります。

※手すり、踏み板は強度保持できる材質(アルミ、スチール、ステンレス)であることを確認してください。又、板厚は下記以上とし、無い場合は補強してください。

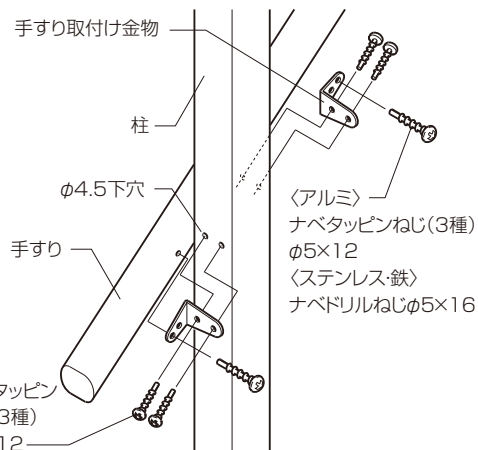
手すり部:2.5mm以上
踏み板:3.5mm以上



●階段に裏板がある場合(図-2)



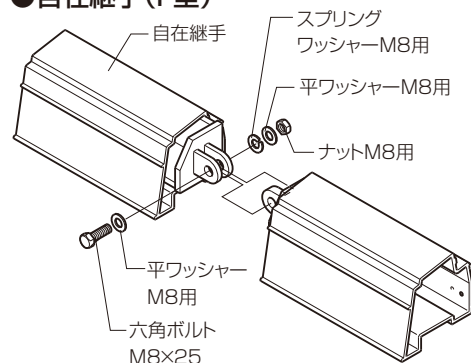
●手すりが丸い場合(図-3)



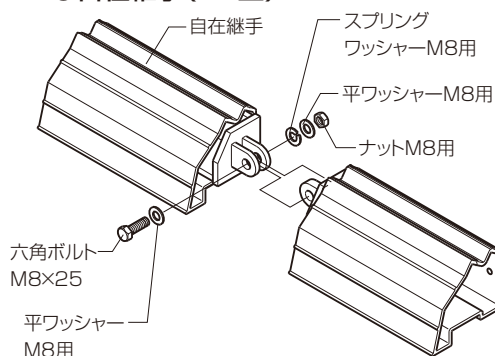
■構造説明図(取付け順序②～④)

■接続部品の加工と組立て

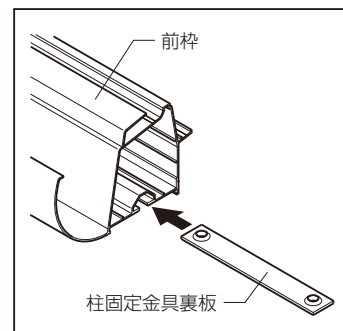
●自在継手(F型)



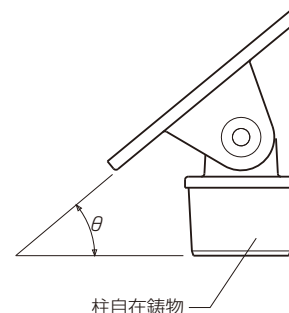
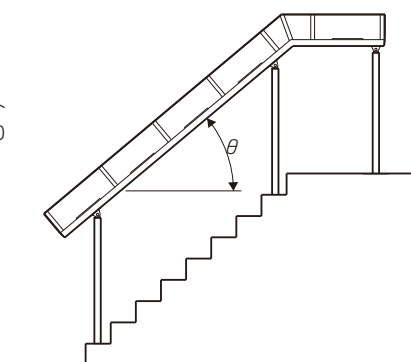
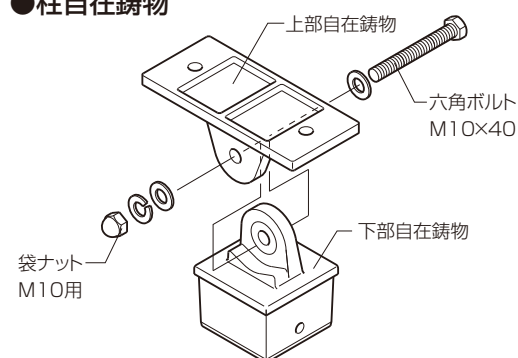
●自在継手(RB型)



●前枠への裏板の挿入



●柱自在鋳物



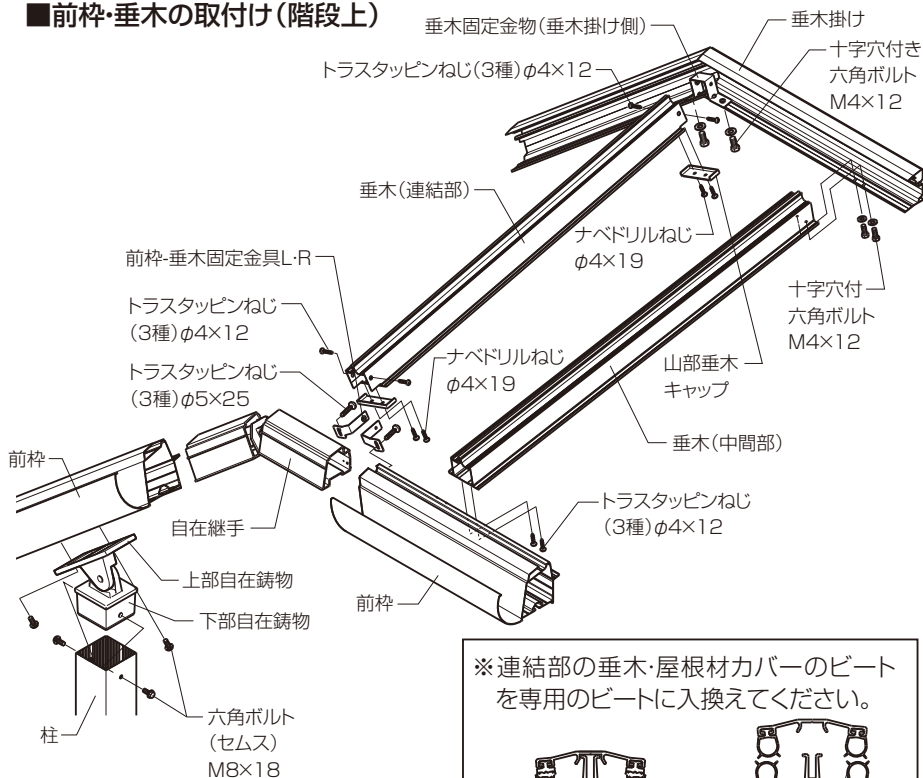
部品名称	階段上	階段下	備考
前枠固定金物			※水平になっています。
前枠-垂木固定金物	 (左側) ※現場の角度に合わせて折り曲げてください。	 (左側) ※現場の角度に合わせて折り曲げてください。	※階段上、階段下で前枠-垂木固定金具の左右が入れ替わります。
垂木固定金物(垂木掛け側)	 	 	※角度は15°に設定されています。
自在継手	※ボルト締めして角度θに固定します。 		

※垂木固定金物(垂木掛け側)には、階段上用・下用があります。

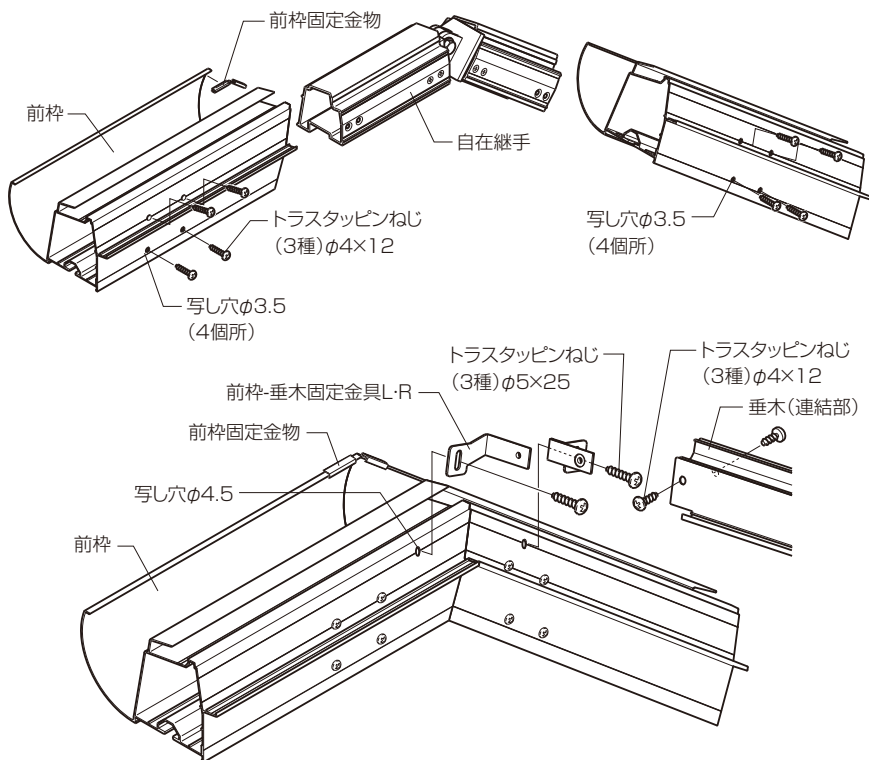
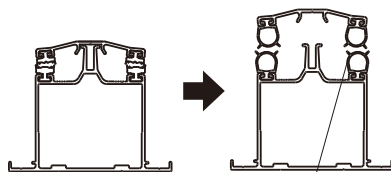
階段上	階段下

■構造説明図 F型(取付け順序⑤～⑦)

■前枠・垂木の取付け(階段上)



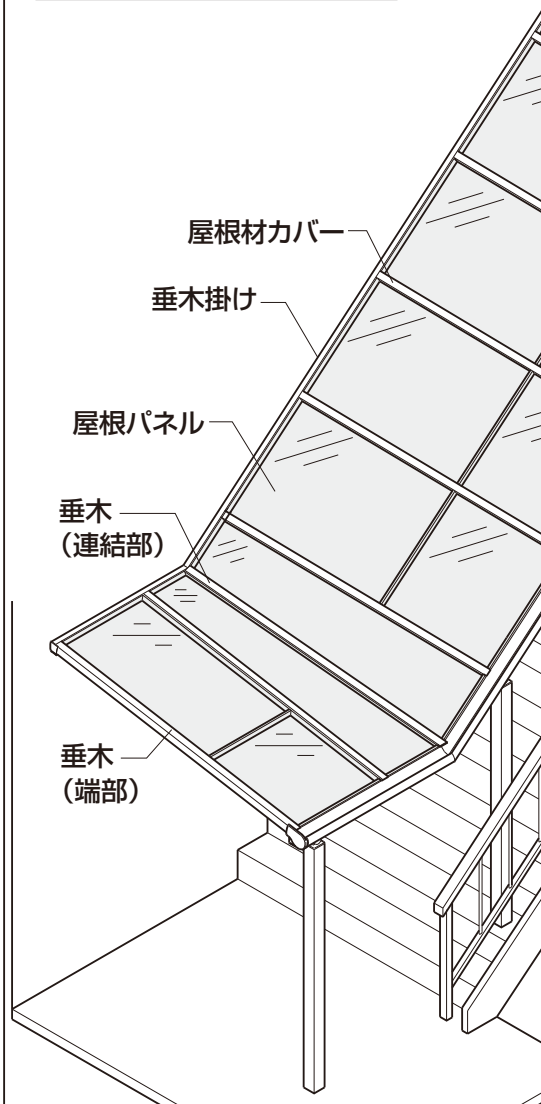
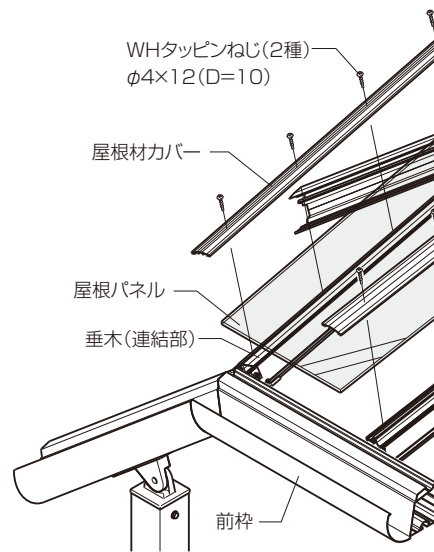
※連結部の垂木・屋根材カバーのビートを専用のビートに入換えてください。

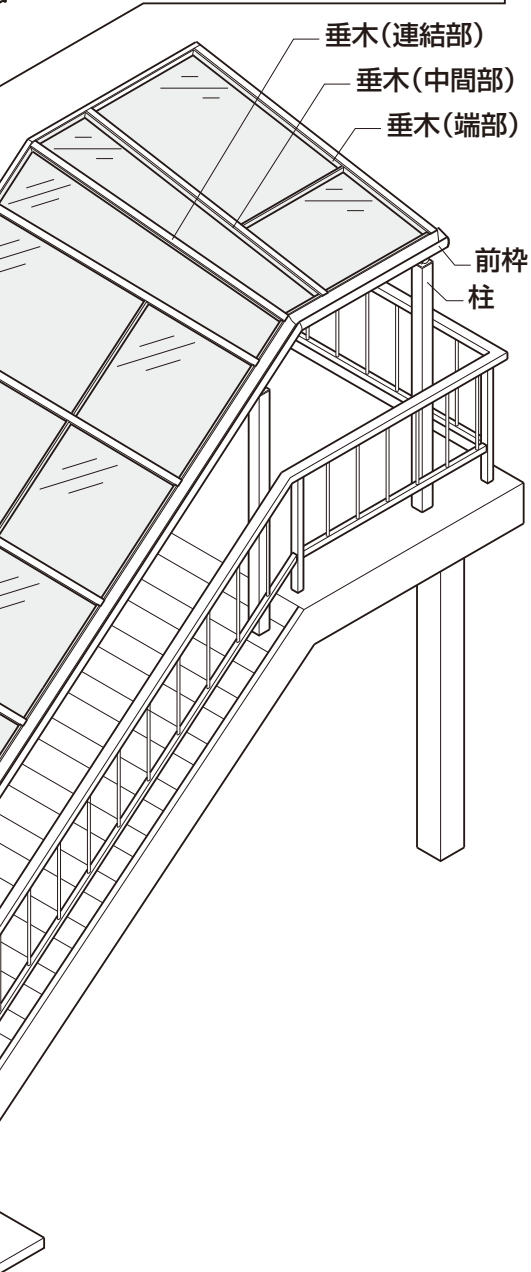
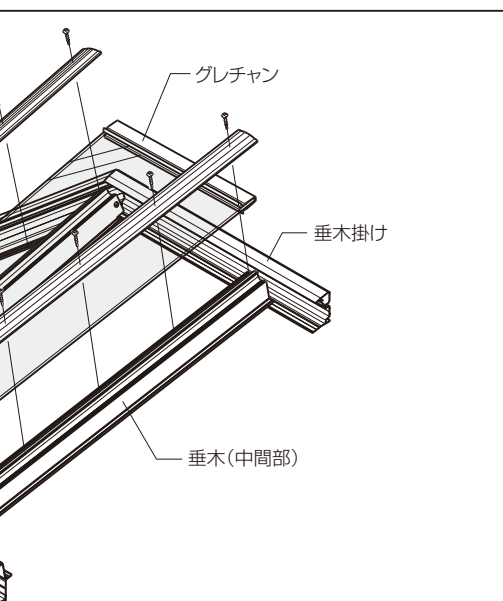


ポイント

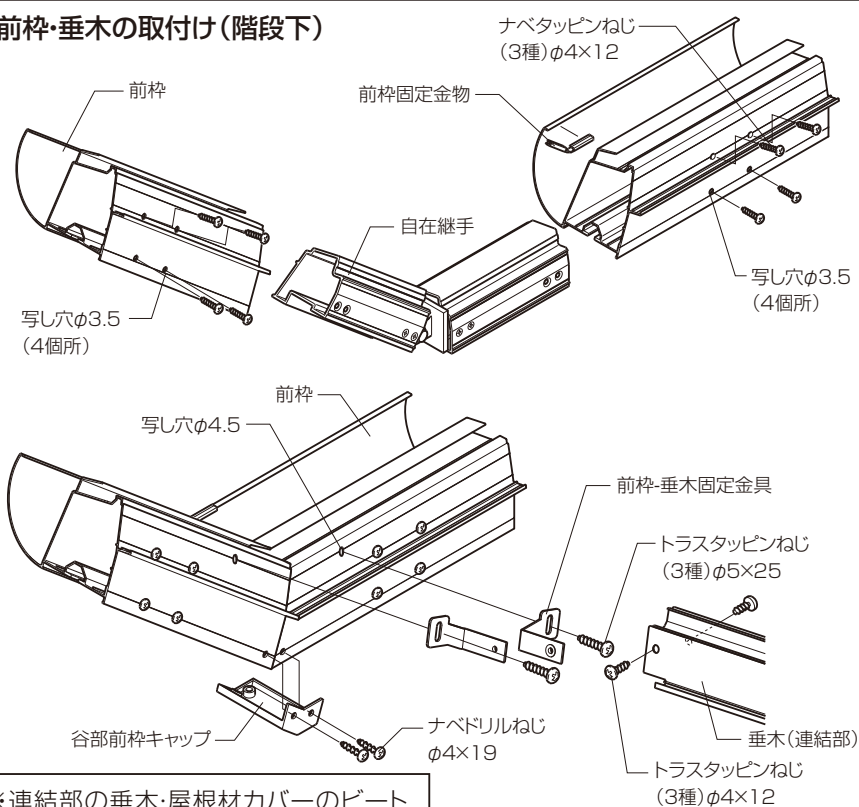
●写し穴は自在継手まで貫通させて固定してください。

■屋根パネルの取付け

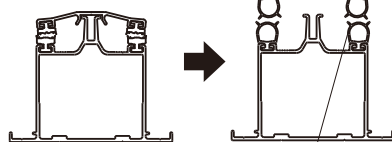




■前枠・垂木の取付け(階段下)

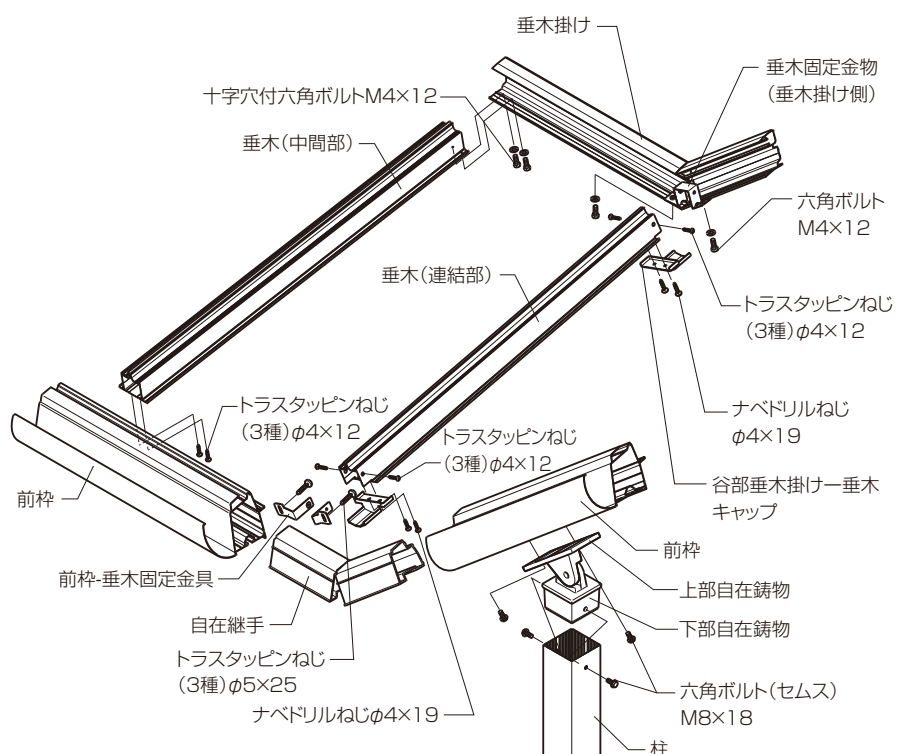


※連結部の垂木・屋根材カバーのビートを専用のビートに入換えてください。



ポイント

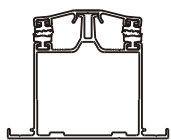
●写し穴は自在継手まで貫通させて固定してください。



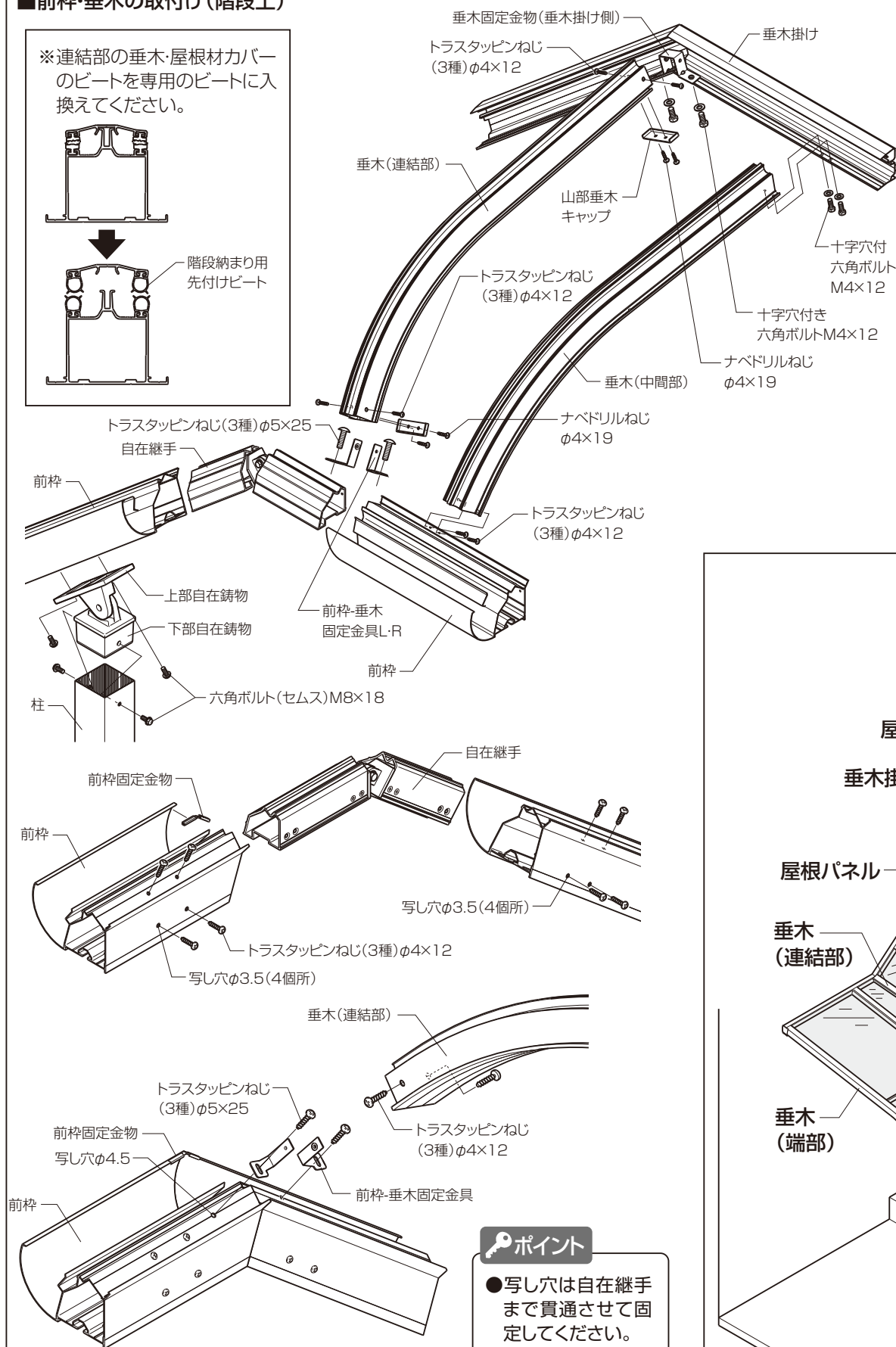
■構造説明図 RB型(取付け順序⑤～⑦)

■前枠・垂木の取付け(階段上)

※連結部の垂木・屋根材カバーのビートを専用のビートに入換えてください。



階段納まり用
先付けビート



ポイント

●写し穴は自在継手まで貫通させて固定してください。

■屋根パネルの取付け

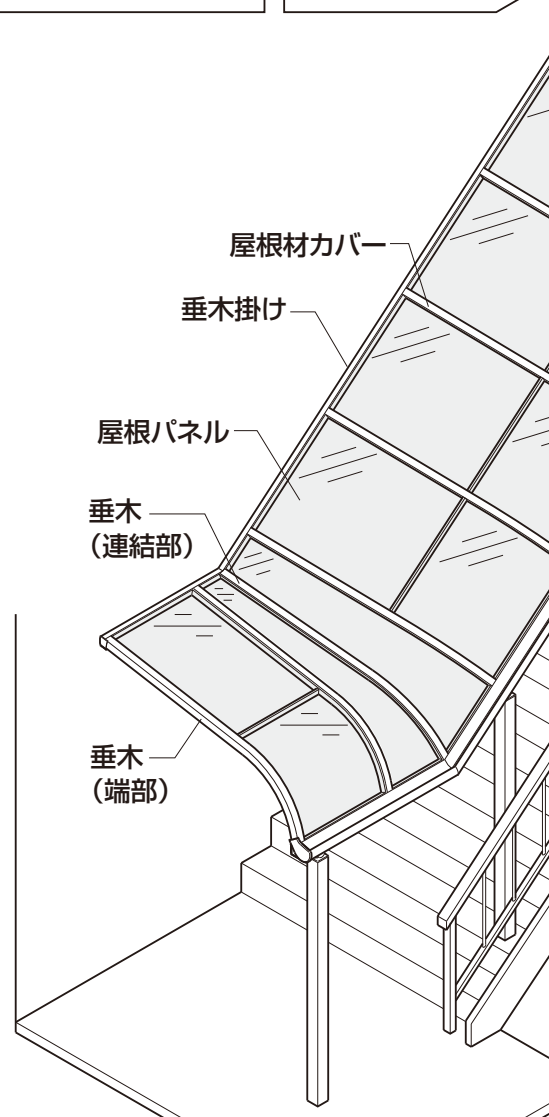
WHタッピンねじ(2種)
φ4×12(D=10)

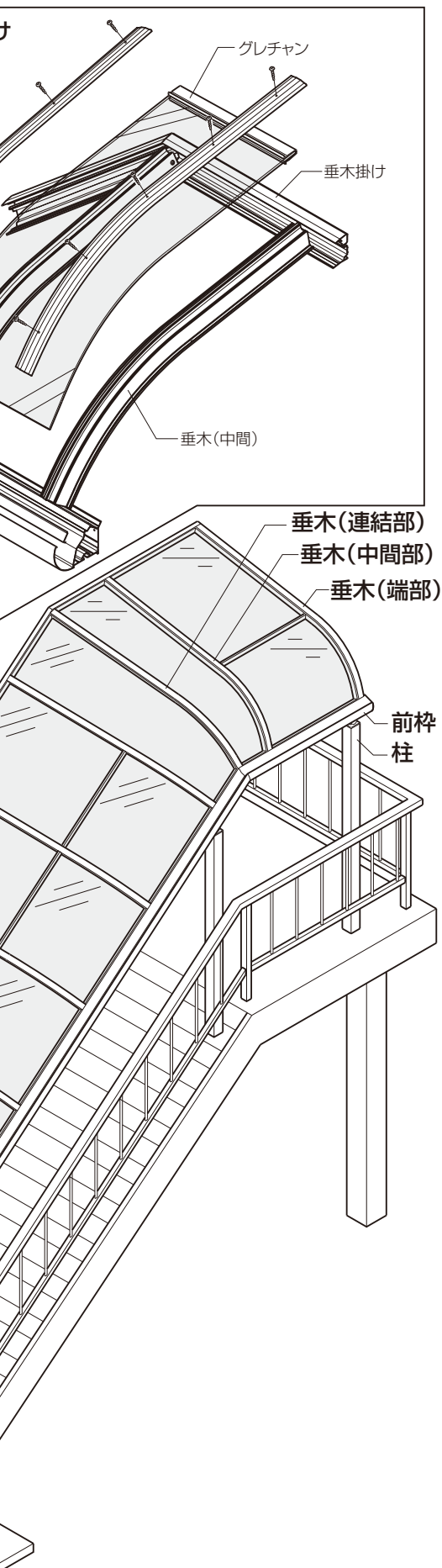
屋根材カバー

屋根材パネル

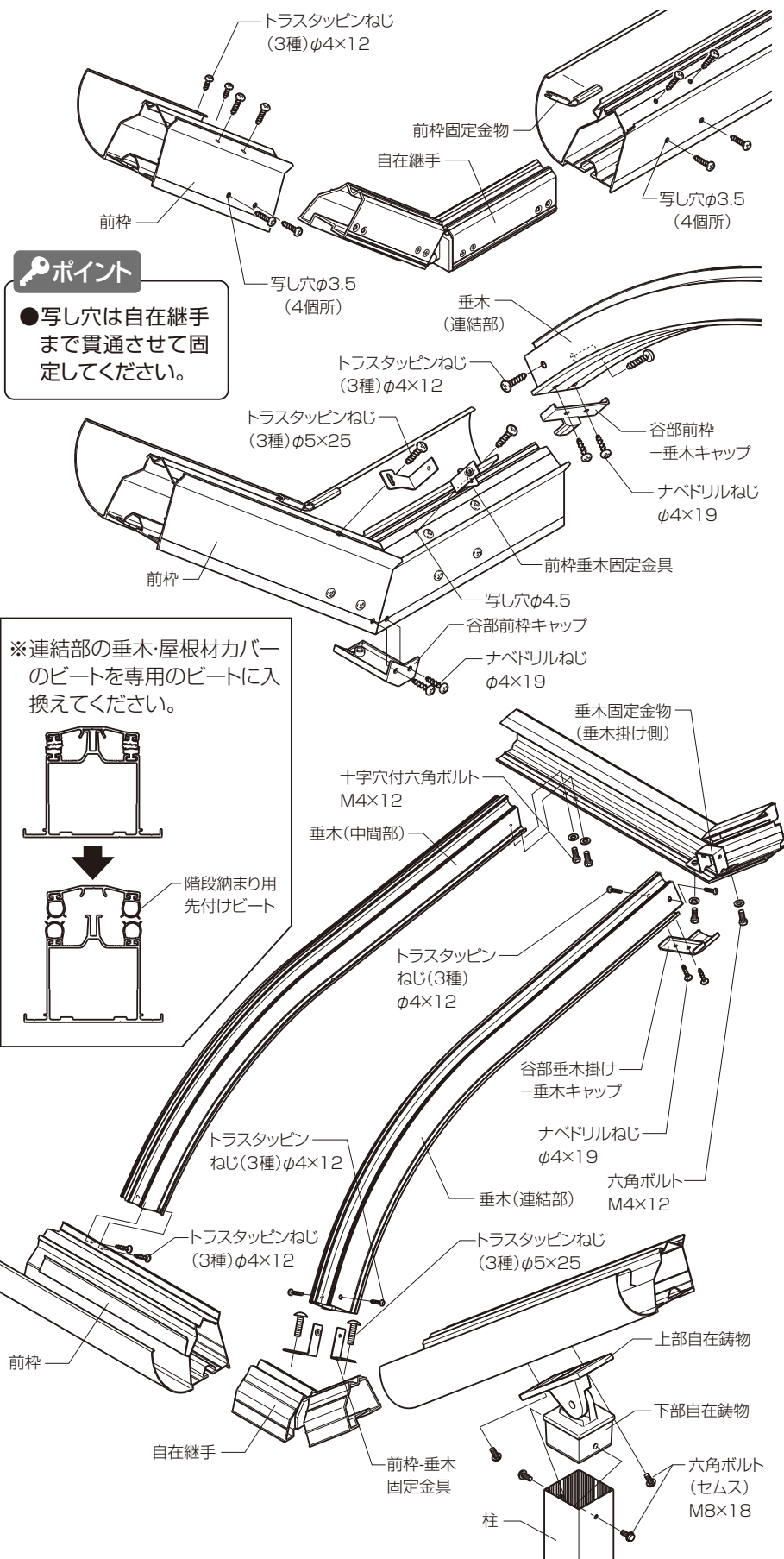
垂木(連結部)

前枠





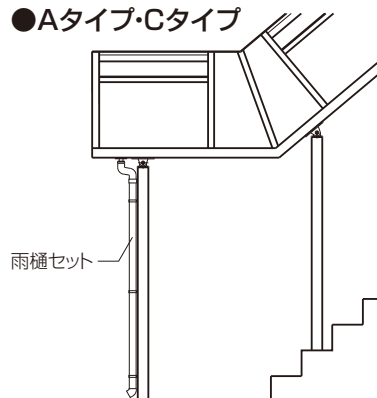
■前枠・垂木の取付け(階段下)



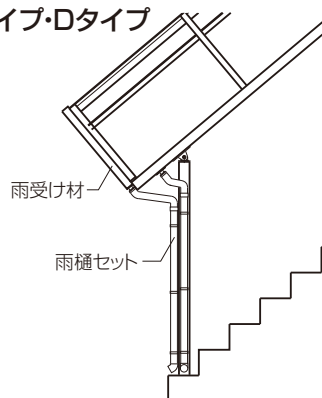
■雨受け材(オプション)の取付け

■雨樋の排水について

●Aタイプ・Cタイプ

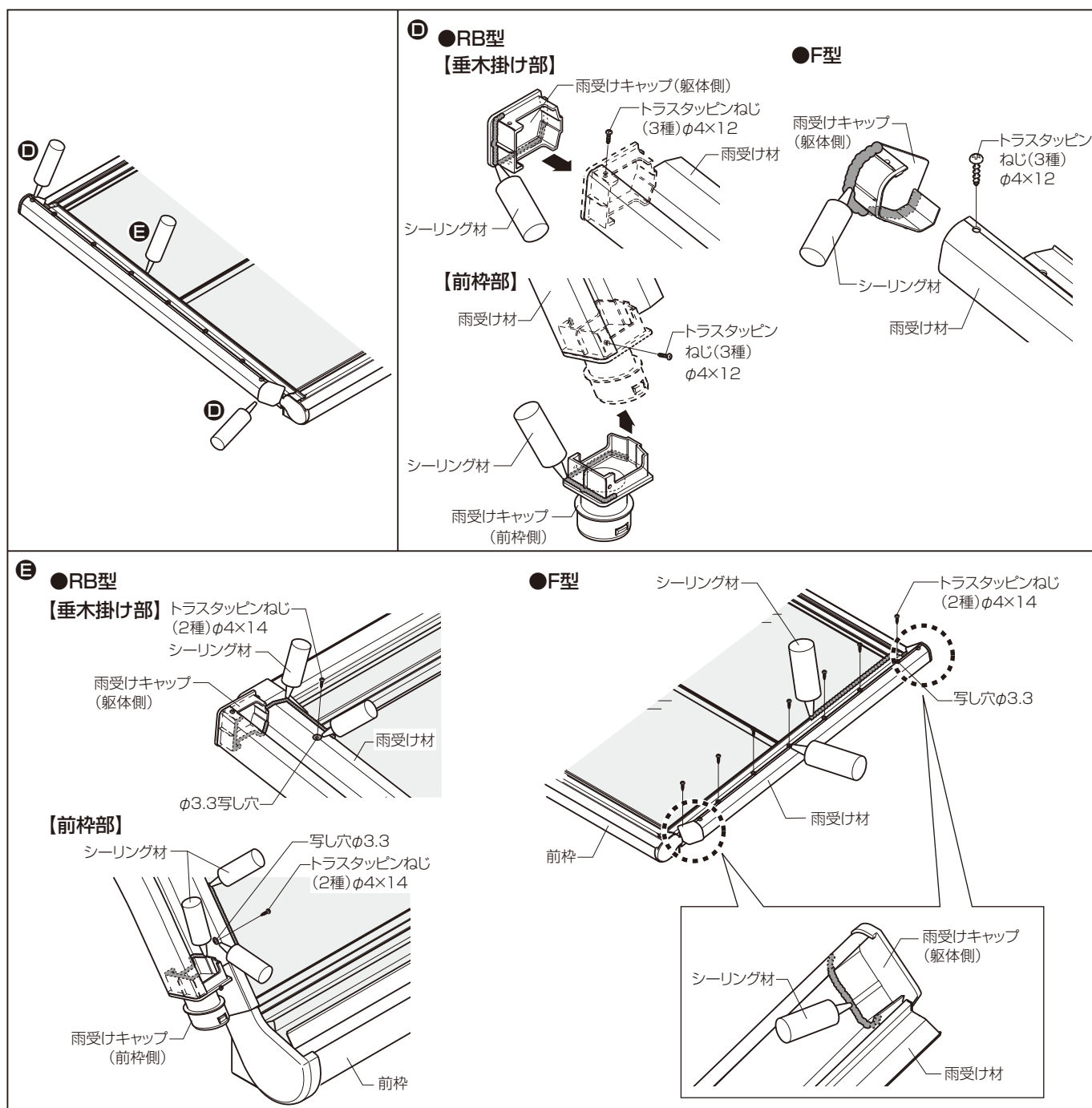


●Bタイプ・Dタイプ



※Bタイプ・Dタイプについては、
端部垂木に雨受け材を取付け、
ここからも同時に雨水を排水
させます。

■雨樋の排水について



■雨受け材(オプション)の取付け

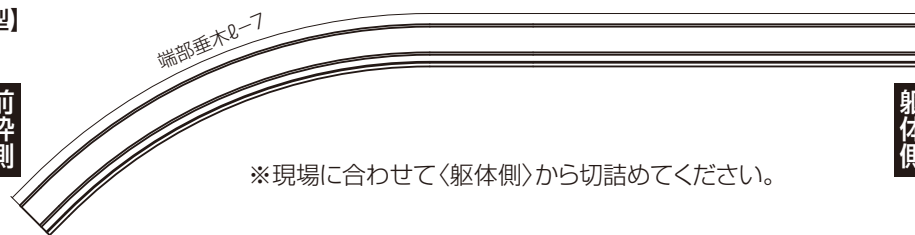
■部材の加工

●雨受け材

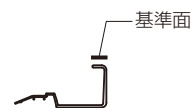
【RB型】

※規格L寸(5尺用)=1564

前
枅
側



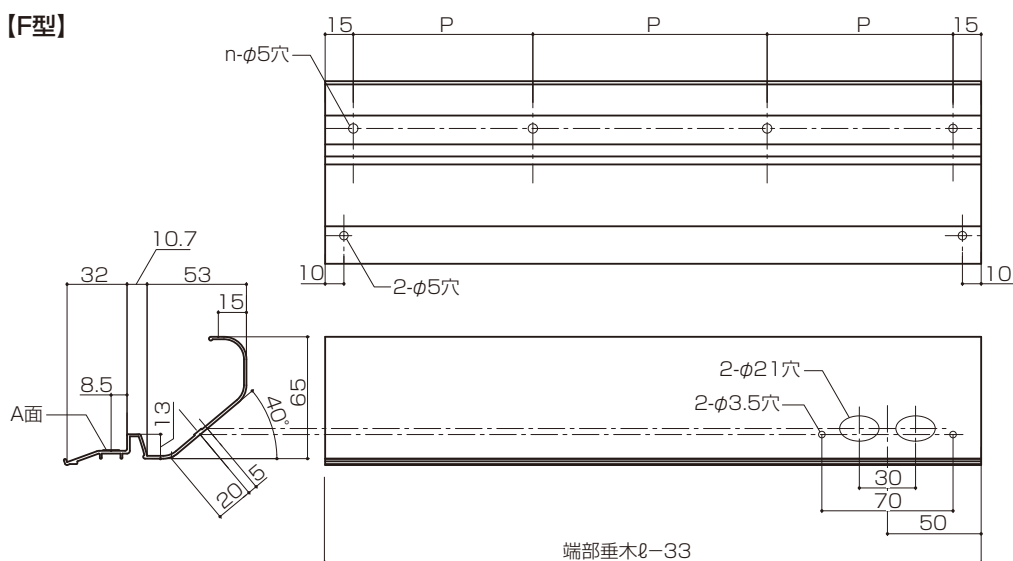
軀
体
側



※現場に合わせて〈躯体側〉から切詰めてください。

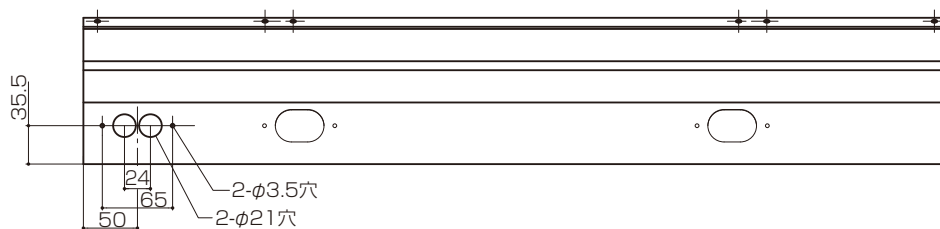
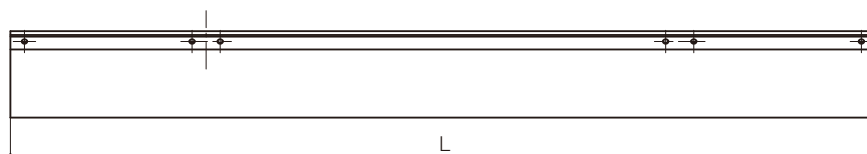
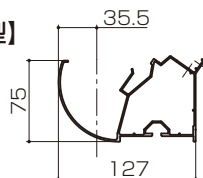
【F型】

※穴ピッチ(P)は400以下でなるべく均等にあげてください。

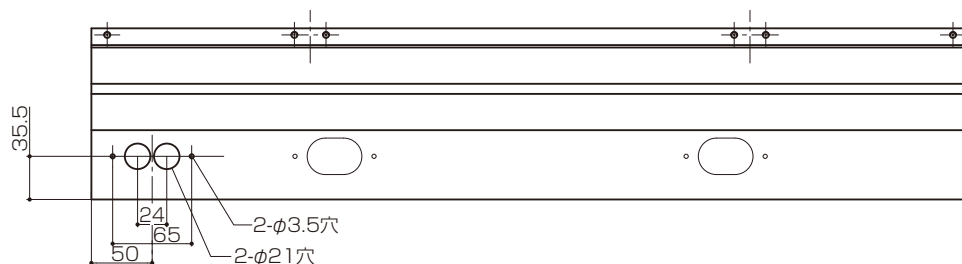
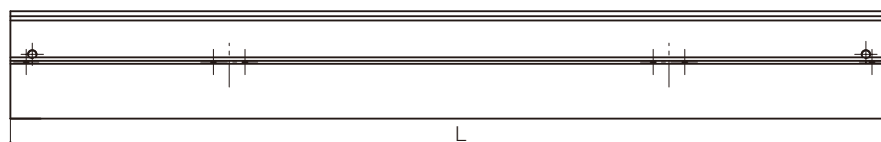
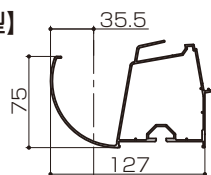


●前枅

【RB型】



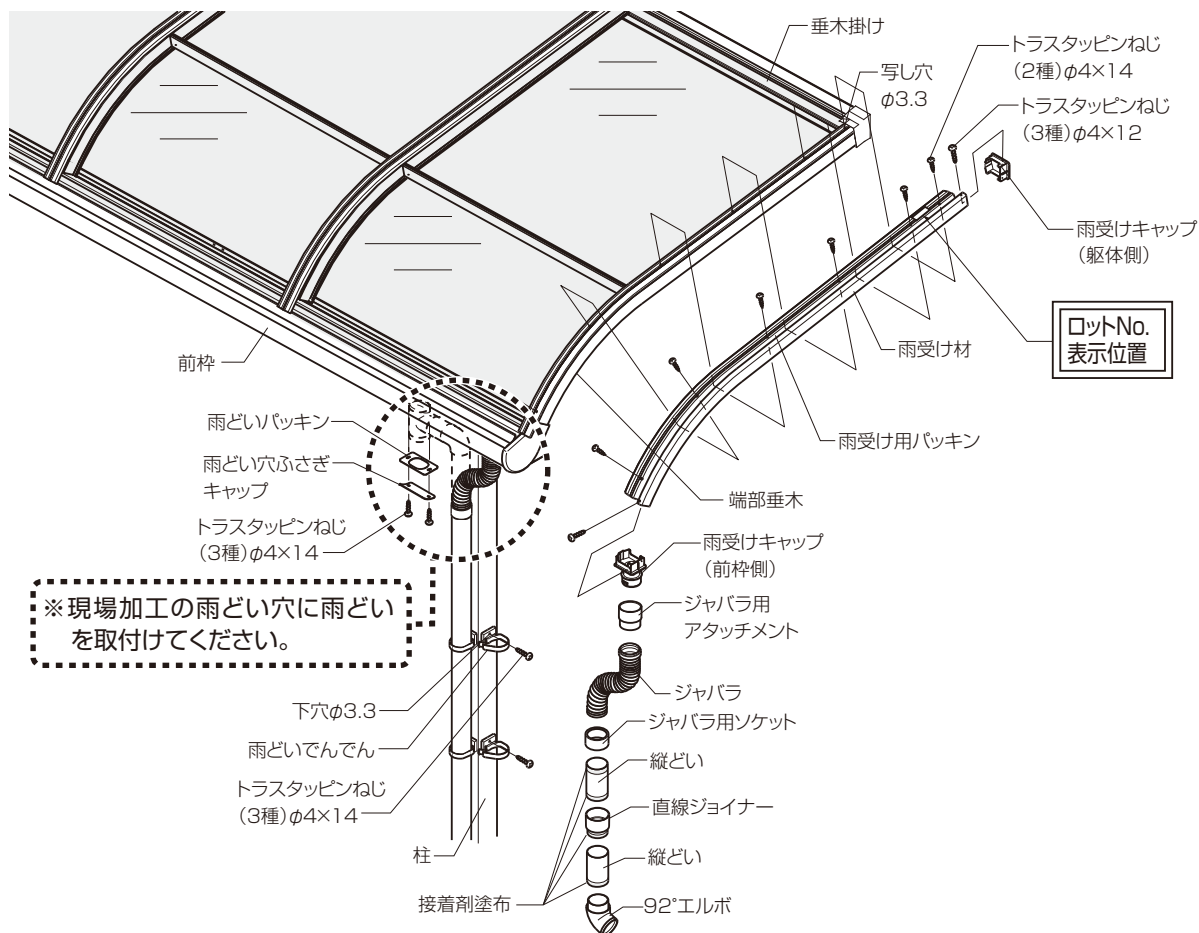
【F型】



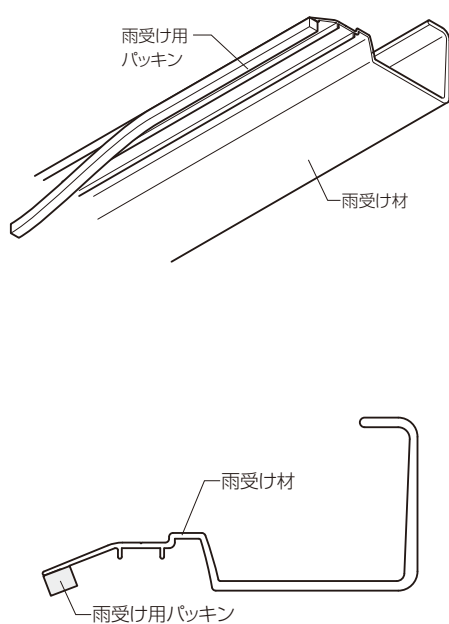
■雨受け材(オプション)の取付け

■構造説明図(雨受け材)

●RB型

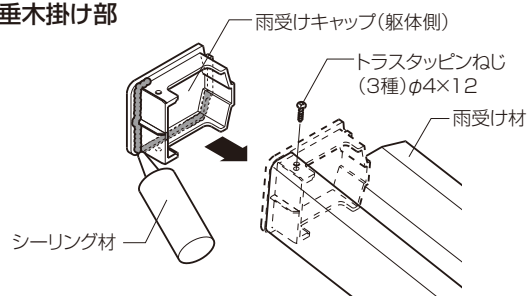


■雨受け用パッキンの張付け

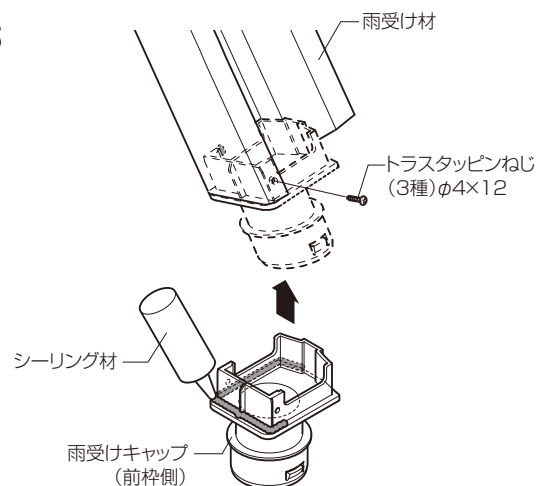


■雨受けキャップの取付け

・垂木掛け部



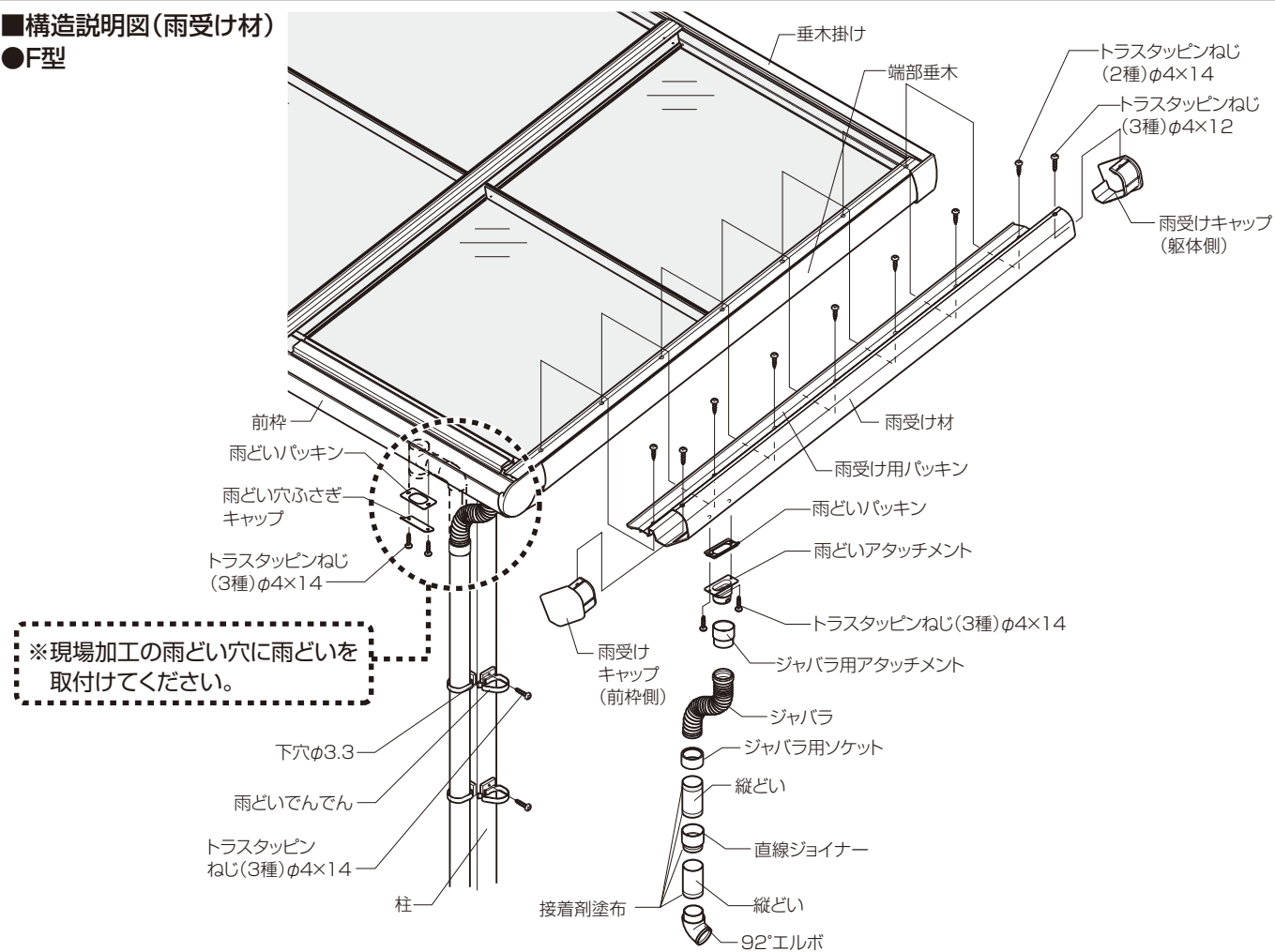
・前枠部



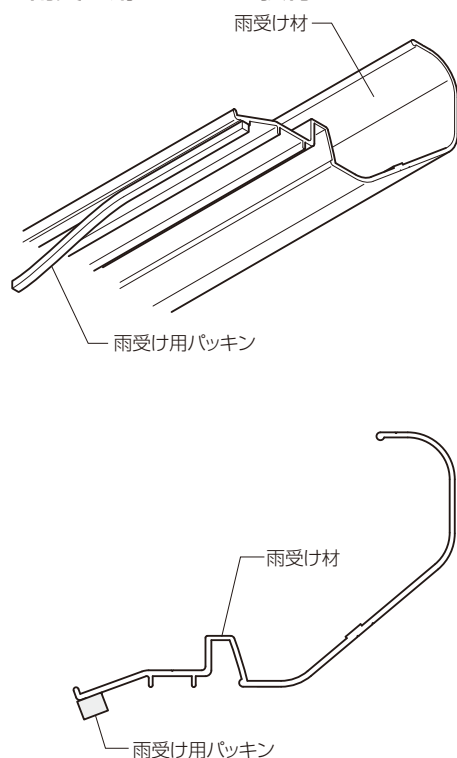
■雨受け材(オプション)の取付け

■構造説明図(雨受け材)

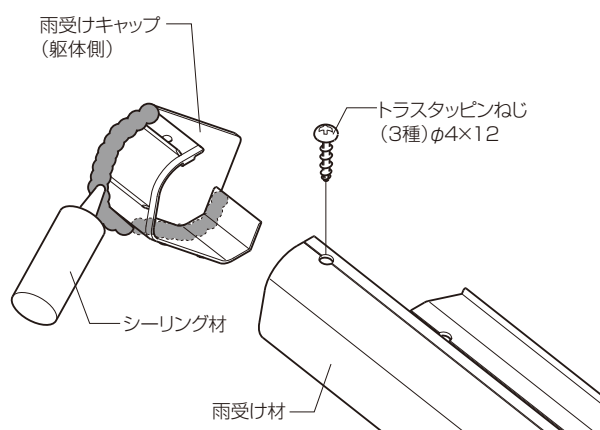
●F型



■雨受け用パッキンの張付け



■雨受けキャップの取付け

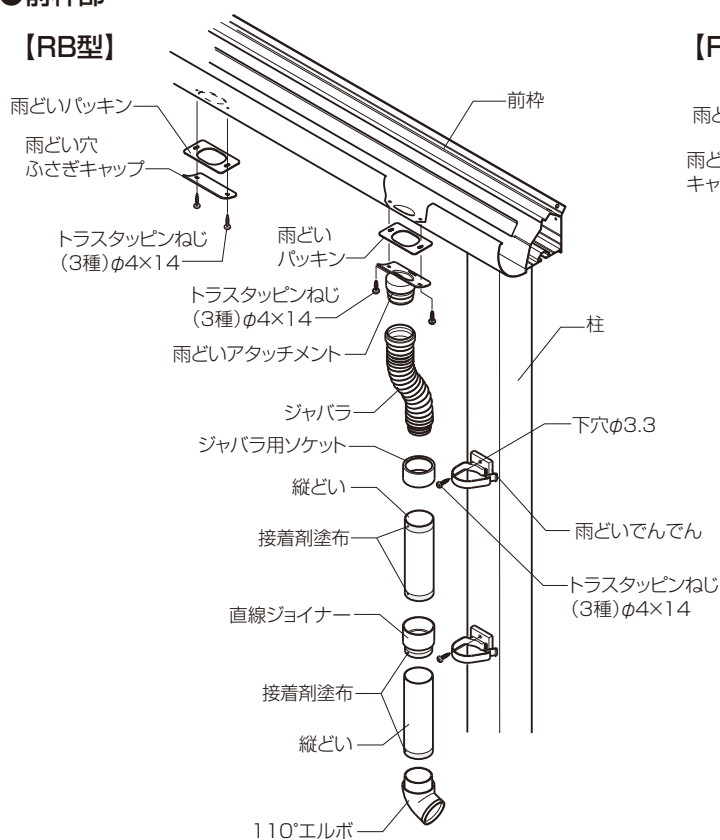


■雨受け材(オプション)の取付け

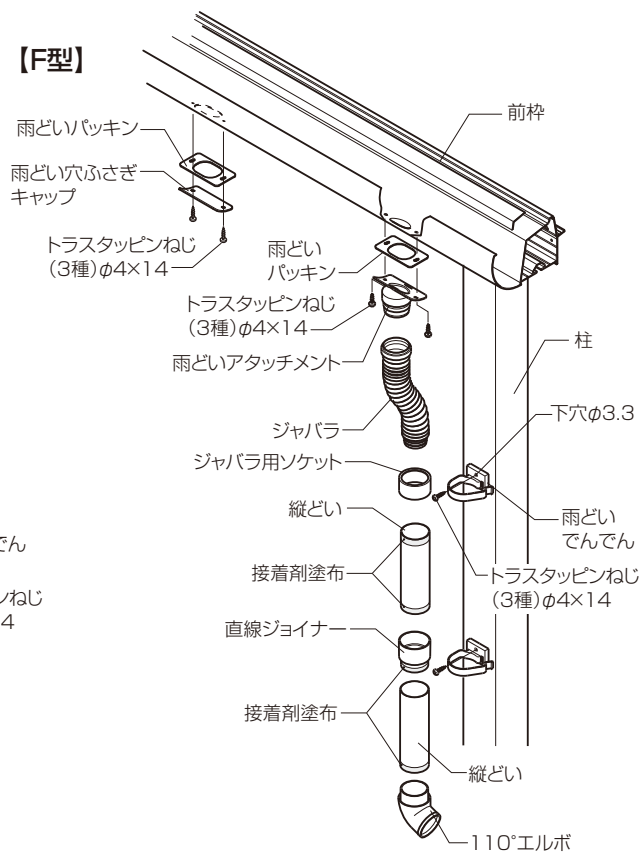
■雨どいの取付け

●前枠部

【RB型】

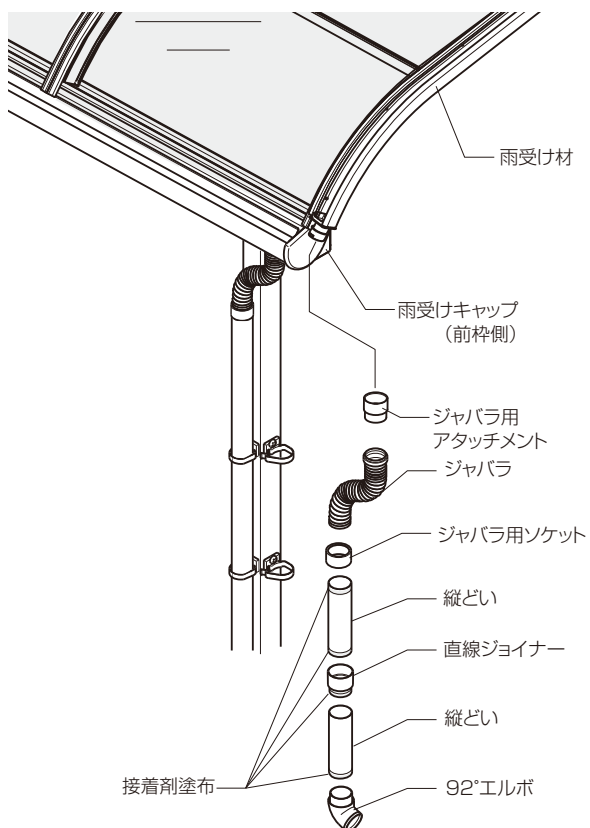


【F型】



●雨受け材部分

【RB型】



【F型】

